資　料　２

第２回専門部会（産業・環境）

第２回専門部会（産業・環境）議題

１　第２回審議会に向けた流れ

２　第１回会議の振り返り等

（１）第１回会議の追加意見について

（２）第１回会議の振り返り

（３）追加データ等
①参考資料
②産業関連データ
③環境関連データ
④転出理由

３　アンケート結果等の区民意見の報告（速報）

４　分野別の目指すべき姿の取りまとめ

２　第１回会議の振り返り等

（１）　第１回会議の追加意見について

（１）第１回会議の追加意見について

●下村委員　追加意見

●全体を通して

- 本専門部会に対する諮問の内容は、次期基本構想における基本目標を具体化するための情報を産業と環境の観点から提示することである。一方でこの諮問に相応しく応えるためには、総花的な一般論を展開するのではなく、大田区の実情を踏まえた適切な方向性を示すことが必要である。
- ここでいう大田区の実情とは、例えばコロナ禍影響からの脱却過程にある大田区のSWOT（Strengths（強み）、Weaknesses（弱み）、Opportunities（機会）、Threats（脅威））の現状を指す。また、上記で言う方向性を提示するに当たっては、失われたＳの再獲得、復帰を目指すのか、拡大したWの縮小を目指すのか、回復した（しつつある）Ｓの維持と新たに浮上したＴへの備えを目指すのか、あるいはＳの拡大、Wの解消、Ｏの積極活用によるさらなる向上を目指すのかという構想上の基本的立場も併せて明確にする必要がある。
- 例えばコロナの事実上の収束により、みかけ上の人流はほぼ回復しつつあるが、果たしてその内訳がコロナ前後で同様の経済効果をもたらしているのか、何某かの変化が生じているのであればその詳細と原因は何かを明らかにしつつ当該真因の解消を「真の課題」と定義し、それを実現する施策を論理的に構成することが必要であり、ここにおいて一般論に陥ることなく、大田区の実情を強く反映した固有でかつ効果的な内容とすることが重要である。

（１）第１回会議の追加意見について

●下村委員　追加意見

●ものづくり

- ものづくり産業を例に取れば、取引額の回復傾向に比して実利益の回復が思わしくない実情を鑑みれば、これまでと同様の営業上の戦略の強化でこの状況を脱することはやはり現実的ではなく、それとは異なる戦略の採用により、大田区のＳの拡大、Ｗの解消、Ｏの活用によるものづくりの高付加価値化の実現を目指すべきであろう。

●仲間まわし

- また事業承継の難しさに伴う廃業に歯止めをかける一つの方策として、大田区固有の仲間まわしをより効果的に活用し、「緩やかな統合」の仕組みを大田区全域に拡大し、ハブ企業を核とするPFI（Private Finance Initiative）的事業展開による従来とは異なる事業承継推進の仕組みを区内に実装することも可能と思われる。
- 大田区の仲間まわしは、中小規模の製造業者が自らの事業のロバストネス（頑健性）とレジリエンス（復旧性）を向上させる手段として、自発的に醸成した優れた協業の仕組みであり、大田区の誇るべき固有のStrengthであり、この強化と拡大は大田区産業全体のロバストネスとレジリエンスの向上に資することが期待される。

（１）第１回会議の追加意見について

●下村委員　追加意見

●「仲間まわし」を活用した横断的な協業

- 現状ではものづくりに閉じているこの仲間まわしの仕組みを、商業、観光、あるいは、ものづくり、商業、観光に跨る横断的な協業の仕組みとして展開することも考えられる。しかしこの時、現在の業態に拘るのではこの仕組みを最大限に機能させることは難しい。
- 効果的な協業を実現する上では、実績ある業態ではなく、提供可能な機能の観点で協業上で自らが果たせる新しい役割を発見することが必要である。
- 例えば、加工によって得られる部品製品の多くは特別な例を除けば決して高い付加価値を見出せていない実情があるが、同様の加工内容、あるいはその組み合わせであっても、部品製品とは比べ物にならない高い付加価値を持つ製品を生み出している例は多数存在する。しかしこれを可能とするためには、現状の単なる組み合わせではない新たな価値とその実現形態を「設計」あるいは「デザイン」する機能を獲得することが必須である。
- 飽くまでも一例に過ぎないが、昨今、アートソフビと呼ばれるソフトビニール製の玩具が数万から数十万の価格で取引され、国内で大きなブームとなっており、それに留まらず海外からの旅行者の目当ての日本製品とも化している。しかしその製法はソフト塩化ビニールを素材とするオーソドックスな昭和のスラッシュ成形技術そのままであり、異なるのはその造形にかつての玩具とは異なるアート性の高いデザインが存在することである。

（１）第１回会議の追加意見について

●下村委員　追加意見

●商業や観光の協業

- 商業や観光の協業を考える上でも、現状そのままの業態での接続により生まれる効果には限界がある。新しい接続（すなわちイノベーション）に応えるために、現状の業態に拘らず、どのような機能が提供できるのかを考えつつ協業に参加することが必要であり、その発見をもたらすのが設計でありデザインの機能である。
- 公衆浴場機能を提供するのが現状の銭湯の業態である。しかし、銭湯にはこれ以外にも提供可能な潜在的な機能が複数存在する。あるいは、飲食店が銭湯との協業を考える時、従来とは異なる提供メニューを考えることも可能であろうが、機能の観点では、「調理ができる」、「食材を調達できる」、「食器の手配と管理ができる」、「空間を提供できる」、「同業ネットワークを保有する」などの機能の提供により、銭湯単独では実現の難しい斬新で付加価値の高いサービスを構成することも可能である。
- このことは観光においても同様であり、現状で既に目に見えている観光資源ばかりを注視するではなく、大田区に固有かつ潜在的に存在する観光資源（のタネ）を発見し、それらに対して、設計とデザインの光を当てることも必要である。

（１）第１回会議の追加意見について

●下村委員　追加意見

●観光資源としてのものづくり

- あくまでも個人的見解であるが、大田区のものづくりは観光資源として大きな可能性を秘めている。ヘラ絞りや鍛造によって形成される造形は時に機械的な特徴の意味を超えて美術的な意匠的意味を生み出している。急速に裾野の広がった3Dプリンティング成形であるが、この製法で構成できる機構には限界がある。
- つまり、この方法によって造形される形状や機構を最大限に利活用するためには、それ以外の板金や切削加工と組み合わせることが必要であるが、そのための加工機能は一般化しておらず、これを大田区の製造業が機能として提供することも考えられる。つまり、「加工の機能」を観光資源として提供するという考え方である。

●成長を可能とする構想

- 3DCADや高機能なCAEソフトウェアが無償配布され、かつて大手製造メーカの設計者しか使用できなかった高度な設計機能が一般家庭の安価なPCで利用される時代となった。ただそれによりデジタル世界に閉じた設計を行えても、個人では不可能な加工は依然として多数存在し、その機能提供は十分魅力的なコンシュマー向けサービスコンテンツとなり得る。
- しかし、このような単なるタネを実際の資源へと変化させるためには、やはり設計とデザインが必要なのであり、そのための基本機能の実装に繋がる、「成長を可能とする構想」の設定を期待している。

（１）第１回会議の追加意見について

●おぎの委員　追加意見

●近隣の大型商業圏とは異なる、独自のまちづくりについて

- 大田区・蒲田の置かれた課題として高さ制限があり、高層ビルの建築が難しい中、また近隣を渋谷、品川、大井町、目黒、川崎、横浜など大きな商業圏に囲まれている中で、蒲田・大森等の経済圏の確立を今後どうしていくかが大きな課題となっている。
- 特に新空港線などの民間の開発は、渋谷と羽田空港の接続に意識が向いていることは地理上明らかである。そうした都市間の競争に負けないように必要なのは、近隣の大型商業圏とは異なる開発、および街づくりである。
- 外国人、工場、空港、下町、コンテンツ産業といったことをテーマに、品川、渋谷、横浜などが担えない街。多種多様、多国籍なマーケット、文化圏など、高さをあまり活用できない平面であることを逆手に取った商業圏、生活圏の確立を目指すべきである。
- ニュースなどで移民、外国人との共存が悪い方向で話題になるが、逆に共生に成功した街を、国内外、国籍を問わず知恵を借りて、作り出していくべきではないか。

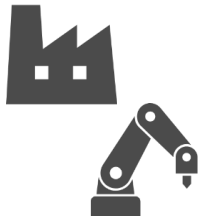
２　第１回会議の振り返り等

（２）第１回会議の振り返り

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

産業・経済（１）

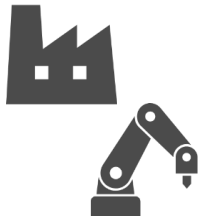


- 大田区の産業の大きな力の一つであるアッセンブリメーカーについては、下請けに徹して苦労する会社が多い反面、特殊な技術を持ち非常に伸びている会社もあるという二面性がみられる。
- 技術を持っているが、１人の匠が会社を支えていて、後継者不足に直面する会社も多い。一方で、嬉しそうに仕事をする親の姿を見て子どもたちがみな後継者になるなど、社長の姿が後継者不足を解決するという側面もある。
- 大田区で行う個々の産業政策が、区全体の創業支援や産業支援につながっていない。全体として大田区の力を出していく「面」的な政策が課題である。
- 産業の未来を考える上では、経済活動の新陳代謝をどう図るかという視点も重要。
- 新空港線ができて魅力的な蒲田になったとしても、オフィスの数等が不足し、新規産出できるような場所がなければ、産業が活性化しない。
- 大田区の商店街は東京で一番数が多く、つまりは日本で一番数が多いと思われるが、後継者不足が深刻であり、存続の危機を迎えている商店街も数多くある。商店街の規模にも大・中・小と様々なものがあり、大きいところはまだ大丈夫だが、中堅どころから困っているところに対する支援が重要。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

産業・経済（２）



- 商店街の広場を土日に封鎖して小学生を遊ばせる取組などもある。商店街は店で商売をするだけの場所ではなく、地域のためにある職業だと思う。そういう部分は大事にしていかなければならない。
- 現在は区の東西が分断されており、車の移動もスムーズではない。新空港線ができることで、羽田イノベーションシティをより産業に活用できるのではないか。また、工業連合会を抱える京浜島・城南島といった島しょ部へのアクセスが良くなるとよい。
- 人工地のマンションへの転換を止めないと工業が戻って来られない。工場や会社だとグリーンな敷地もできるが、マンションだとそういうこともあまりできない。
- 今回の構想の中にも、大田区で事業をやっていると事業承継もスムーズにいく、安心して事業承継ができるから経営者は力が出せる、商店主ががんばっていけるという視点も取り入れてほしい。

（２）第１回会議の振り返り

分野	進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見
観光・文化	• ものづくりの会社を回る観光や羽田イノベーションシティで研修をする観光など、産業観光（テクニカルビジット）に特化すべきである。 • 空港が稼働すると、大田区の経済には数千人規模で納税・消費・不動産等々でも賃貸をしてくれるなどのメリットがある。直接的な消費や観光を大田区でするかしないかは別にして、航空業界とはかなり密接な関係にある。 • 観光客が区の文化や伝統芸能のみを直接の目的として来訪することは少ないと考えられる。そうした中で、ある程度ピンポイントに絞って、「空港」や「ものづくり」などをコンテンツとするとよいのではないか。 • 新空港線ができることにより人の流れができ、観光にも結び付くのではないか。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

環境



- 環境だけに限る話ではないが、コロナとコロナ後をどう踏まえて将来像を描いていくかという視点が重要。
- 環境問題について何かしたい、何かしなければならないと感じている区民は比較的多いが、行動に結びついていない。何をどうすればいいのかわかりづらいことが要因として挙げられるため、具体的に何をすればどういう効果が得られるのかという可視化されたわかりやすいイメージがあると行動しやすい。区民の具体的な行動に結びつくような、働きかけ、施策、啓蒙活動のようなものを将来像の中に取り込めるとよい。
- 気候変動の問題は、社会経済システム全般に関わる話であり、猛暑日の増加に伴う熱中症の死亡者の増加などは、健康や福祉の問題にも関わるため、「環境」という中に閉じ込めてしまうのではなく、分野横断的な課題として整理する必要がある。
- 「大田区環境ビジョン2050」では、３つのゼロ（温室効果ガス実質ゼロ、プラスチックごみゼロ、食品ロス実質ゼロ）を目指し、それを通じて持続可能な環境先進都市おおたを実現するとうたっている。2040年頃はその途中の通過点として、環境先進都市としての今のビジョンを基本構想の中にも落とし込んでいくことが必要である。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

国際都市・多文化共生



- 「秩序ある共生」というのはどうしていけばよいのか、考えなしに外国人を呼び込むことがどういう結果を招くのか、注意をして考えていかなければいけない。
- 日本に長く住んでいる外国人は、自分たちのコミュニティを作り、そこで地域とも溶け合いながら暮らしていると考えられる。日本に来て、日本人から何かを指摘されるよりも、同じ国の人からルール等を教えられる方が効果や影響が大きい。外国人労働者・住民とどう接していくかは、こうしたコミュニティを前提に考える必要があるのではないか。
- 若い世代では、インターネット上のSNSやゲームを通じた外国人との交流も行われている。そういう文化がある中で、羽田空港もあって外国に行き来がしやすいところも生かすとよい。
- 羽田空港付近に1,500人規模のホテルが開業し、年内は空室がない状況。空港の中の需要だけで大田区の需要と言えるかどうか分からないが、それぐらいコロナ以降、空港関係も業態は戻ってきている。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

人口



- 人口の継続性を考えると、ファミリー世帯の定着が大事である。ファミリー世帯向けの住宅の確保を計画的に公共が進めていくということも大事になってくる。
- 人口減少、特に若い子育て世代が減っていくことを考えると、若い世代の暮らしやすさ・過ごしやすさを考えることが重要である。特に地元生まれ・地元育ちではない人にとっては、都心やいろいろな商業施設、遊興施設に対する利便性や、大きな施設があって暮らしやすいといった要素も大きい。

自治体経営



- 産業的な側面で公共インフラを整えるということは、非常に重要な区の行政政策である。例えば、スポーツと産業をどう絡めるのかということでは、大田区総合体育館の活用方法や、体育館のあり方について検討を深掘りしてもいいのではないか。
- 大田区の発信力はすごく弱い。区が行う先進的な取組をまちづくりにどう生かしていくか研究し、それを発信していくべきだ。

（２）第１回会議の振り返り

分野　　**進むべき方向性や重要となる施策等に関する意見**

その他

三

- 今の大田区に関するアンケートで上位に上がってきているのは交通の便がいいなど、ハード面での設備が大変整っているということだと思う。他方、下位15位の中に多く入っているのは、マナーの件、治安の件、障がい者に優しいまちであるか等、ハード面というよりは、人々の意識や認識、いわゆるソフト面が大きく関係しているのだと思う。人々の支え合い・思いやり・譲り合いがあれば、多少のことは乗り越えていけると思うので、この点に関する啓蒙活動を行うことが、本当に安心・安全で住みよい大田区、将来のまちづくりにつながっていくのではないか。

- 蒲田のいいところは、人が優しく、人と人とのつながりが多いところ。ただし最近は家賃の高いワンルーム物件なども増えており、以前とは状況が変わってきている側面もある。

- 大田区は23区の中でも特異体質と言える場所であり、全国のものを全て集約したところが大田区。そういう側面を持つため、大田区で統計を取ると日に日に変わると思う。そのようなことを踏まえると、全体的なものを見ながらも、今のこの時期、今の世代に合わせて、今一番何が必要かというところをポイントポイントで選びながら取り組んでいくことが重要。そういう意味では、短期的に見直しを行っていくことも重要。

- 基本構想を考える上では、将来的な社会の継続性を見据えた検討を行うことが重要である。また、区政レベルでできることにしっかりとブラッシュアップしていく必要がある。

２　第１回会議の振り返り等

（３）追加データ等
①参考資料
②産業関連データ
③環境関連データ

（3）追加データ等　一覧

参考資料	○大田区の工業分野におけるSWOT分析 ○大田区の商業・観光分野におけるSWOT分析
産業関連データ	○区内に立地する製造業の実態（創業年、経営者の年齢） ○大田区の新設企業数（産業分類別等） ○大田区の動向と全国の動向 ●産業構造（※大田区については、2016年との比較を含む） ●製造業の推移（売上、付加価値額、事業所数、従業者数） ●卸売業・小売業推移（売上、付加価値額、事業所数、従業者数） ●宿泊業・飲食サービス業推移 （売上、付加価値額、事業所数、従業者数）
環境関連データ	○区内CO_2排出量の推移（部門別）

（参考）大田区の工業分野におけるSWOT分析

内部環境	外部環境	O　機会	T　脅威
		✓ 市場ニーズの多様化 ✓ サプライチェーン再構築、大手企業の国内回帰 ✓ グローバル化 ✓ デジタル技術の発展 ✓ 地球環境への対応	✓ 世界的な環境変化(不確実性の高まり) ✓ 既存市場の変化 ✓ アジア諸国の技術力向上、国内競合の競争力向上、工作機械の高機能化 ✓ 少子高齢化 ✓ デジタル化、脱炭素対応の遅れ
S 強み	✓ 多様な基盤技術を有するものづくり企業の集積 ✓ 仲間まわしのハブとなっている企業の高い企画力、コンサルティング力 ✓ 羽田空港の立地、HICity ✓ スタートアップ等、幅広い産業の集積 ✓ 新たな価値を提供する後継者の存在 ✓ 充実した産業支援施設 ✓ 都市機能の進展	• 自己変革力の強化 • 稼ぐ力の強化、高付加価値化 • ハブ機能の強化 • 産業支援施設の機能強化 • 仲間まわしの高度化 • 羽田空港・HICityを活用した国内外への展開・連携 • 多様な主体との連携	• 匠の技や実績などの大田区ならではの強みの見える化・差別化 • PR強化 • 仲間まわしの効率化 • 人材や機械の共用 • 新市場を牽引する外部主体との連携
W 弱み	✓ 企業数の減少 ✓ 産業集積の衰退 ✓ 後継者・人材不足 ✓ 変革マインドの不足 ✓ デジタル化、脱炭素対応の不十分さ ✓ 産業間連携体制の未整備 ✓ 地価の高騰、住宅増加等による工場の立地用地の不足 ✓ 大田区の特性への継続的な普及・啓発の不足	• 事業承継の多様化対応 • 技術承継対応 • コンサルティング領域への転換 • デジタル化対応、脱炭素対応 • 域内外の立地ニーズへの対応 • 産業を越えた連携の促進	• 企業合併 • 基盤技術維持型産業支援施設の立地、企業集約

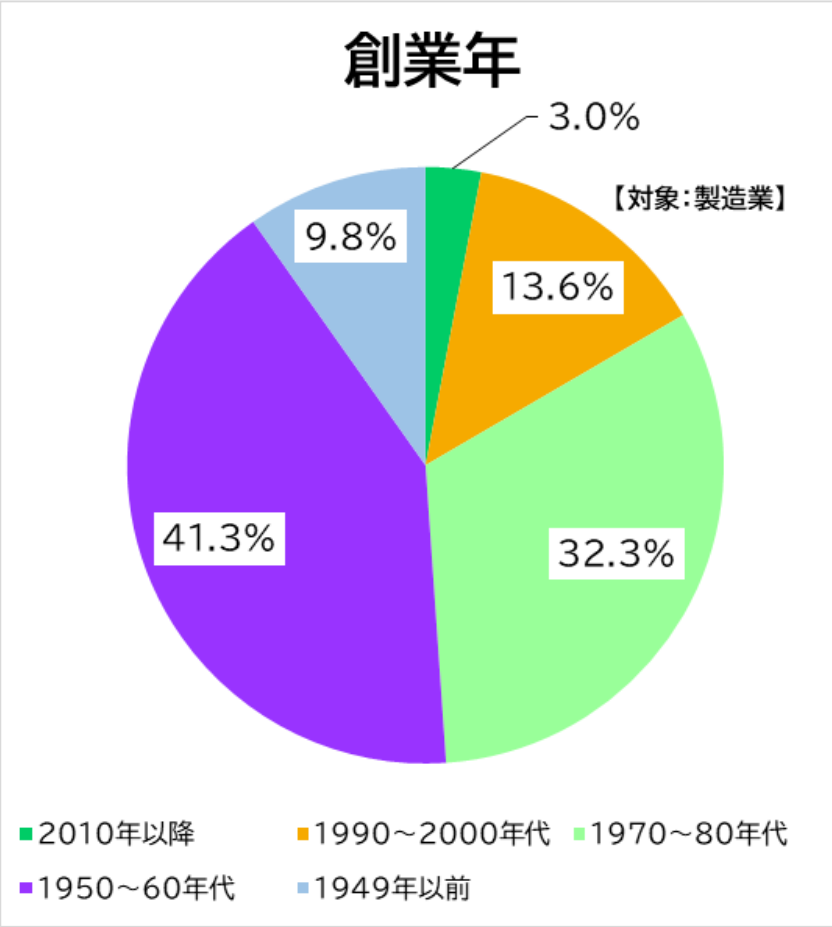
（参考）大田区の商業・観光分野におけるSWOT分析

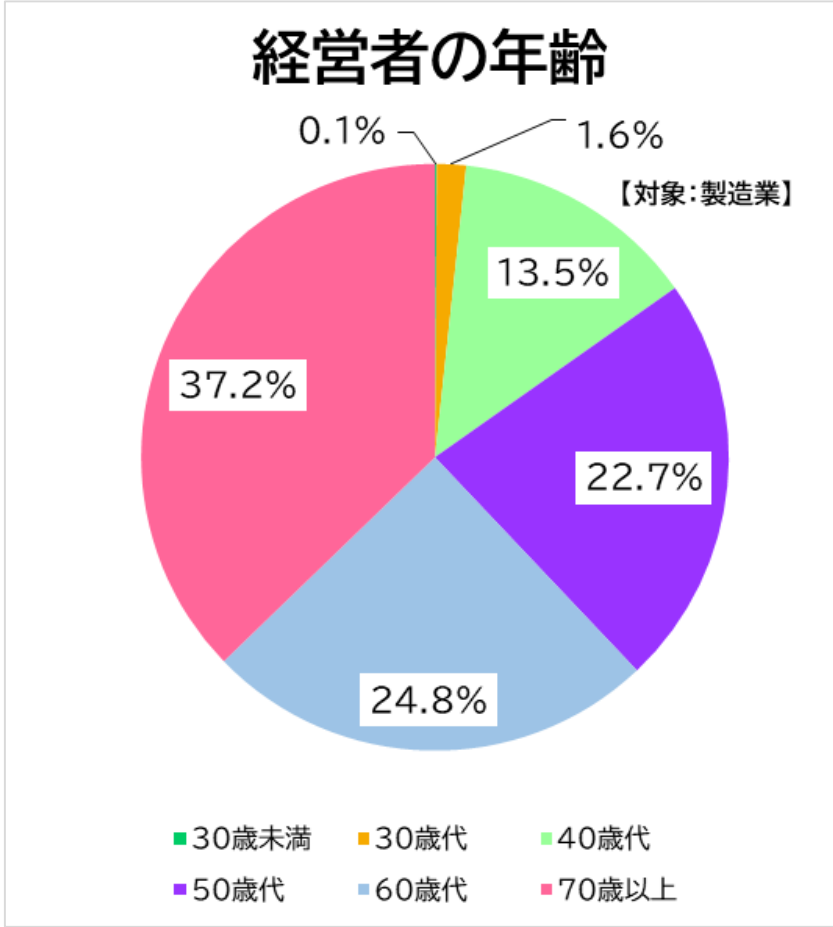
外部環境

	O　機会	T　脅威
	✓ 社会ニーズの多様化 ✓ 観光ニーズの変化（見物→体験へ） ✓ インバウンドの拡大 ✓ 地球環境への対応	✓ ECの拡大 ✓ 消費者の選択肢増加 ✓ インバウンド熱の過剰化（戦略なきムーブメント） ✓ 少子高齢化
内部環境 S 強み	✓ 全国でも有数の商店街の集積 ✓ 都心・羽田空港等の好立地 ✓ 人口の増加、人流 ✓ 魅力的な個店 ✓ 幅広い産業の集積 ✓ 新たな価値提供できる後継者の存在 ✓ 都市機能の進展	• 自己変革力の強化 • 強み稼ぐ力の強化、高付加価値化 • 魅力ある多様な個店の集積 • 循環・回遊モデルの構築 • 羽田空港・HICityを活用したインバウンド需要の取り込み • 多様な主体との連携	• 昔ながら/大田区ならでは/ここにしかない個店の魅力の見える化・差別化 • PR強化 • 地域コミュニティ機能の多様化 • 多様な事業者の連携によるデジタルにはない魅力・利便性の創出
内部環境 W 弱み	✓ 魅力ある個店のPR不足 ✓ 商業集積の衰退 ✓ 後継者・人材不足 ✓ 変革マインドの不足 ✓ デジタル化、グリーン対応の不十分さ ✓ 産業間連携体制の未整備 ✓ 地域のおもてなし機運の不足（より一層の醸成）	• ターゲット明確化、個性・強みの更なる強化 • グリーン対応（フードロス等） • デジタル化（PR、地域通貨等） • 事業承継の多様化対応 • おもてなし機運の更なる醸成 • 産業を越えた連携の促進	• 企業合併 • 新たな集積基盤の構築

（３）産業関連データ

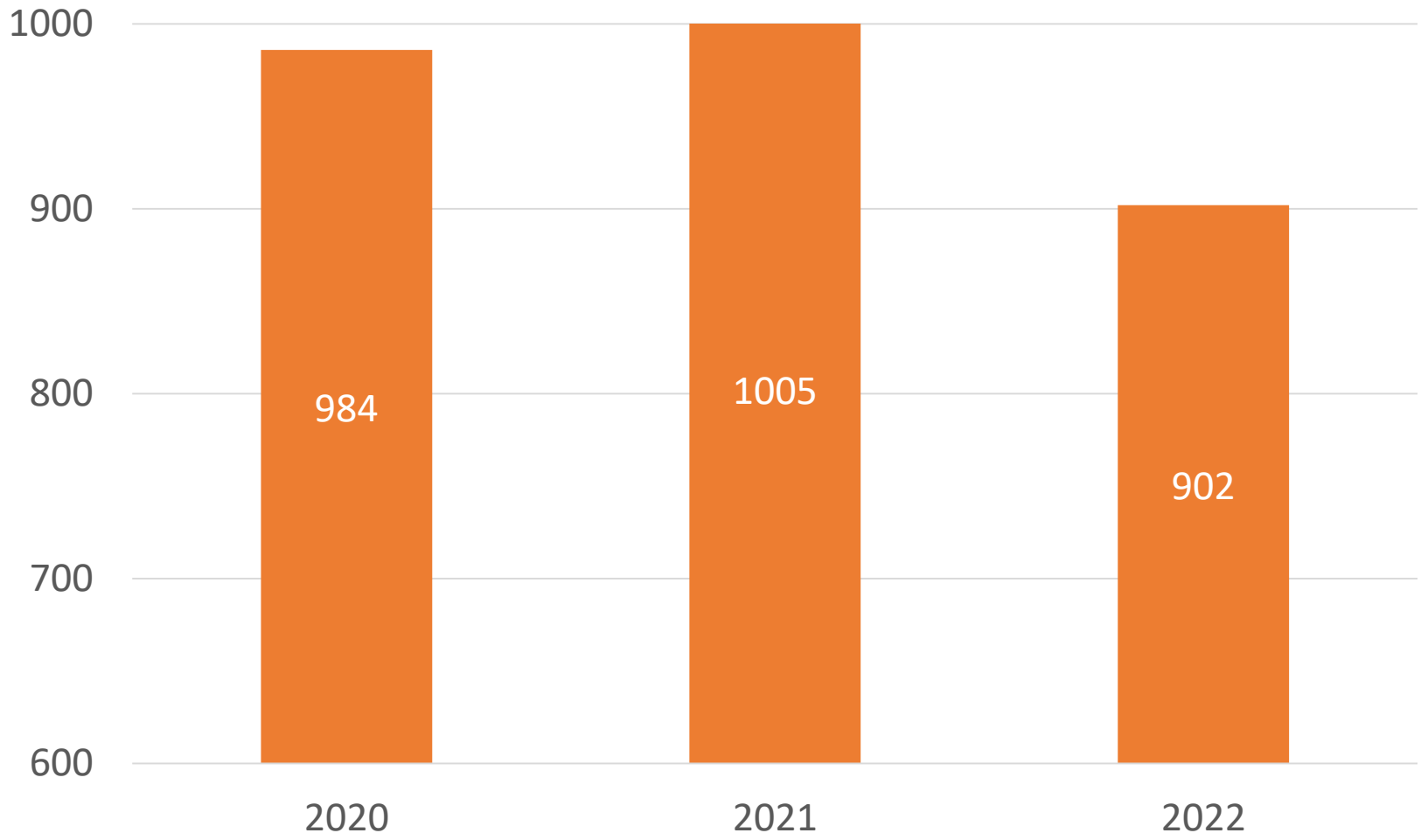
区内に立地する製造業の実態





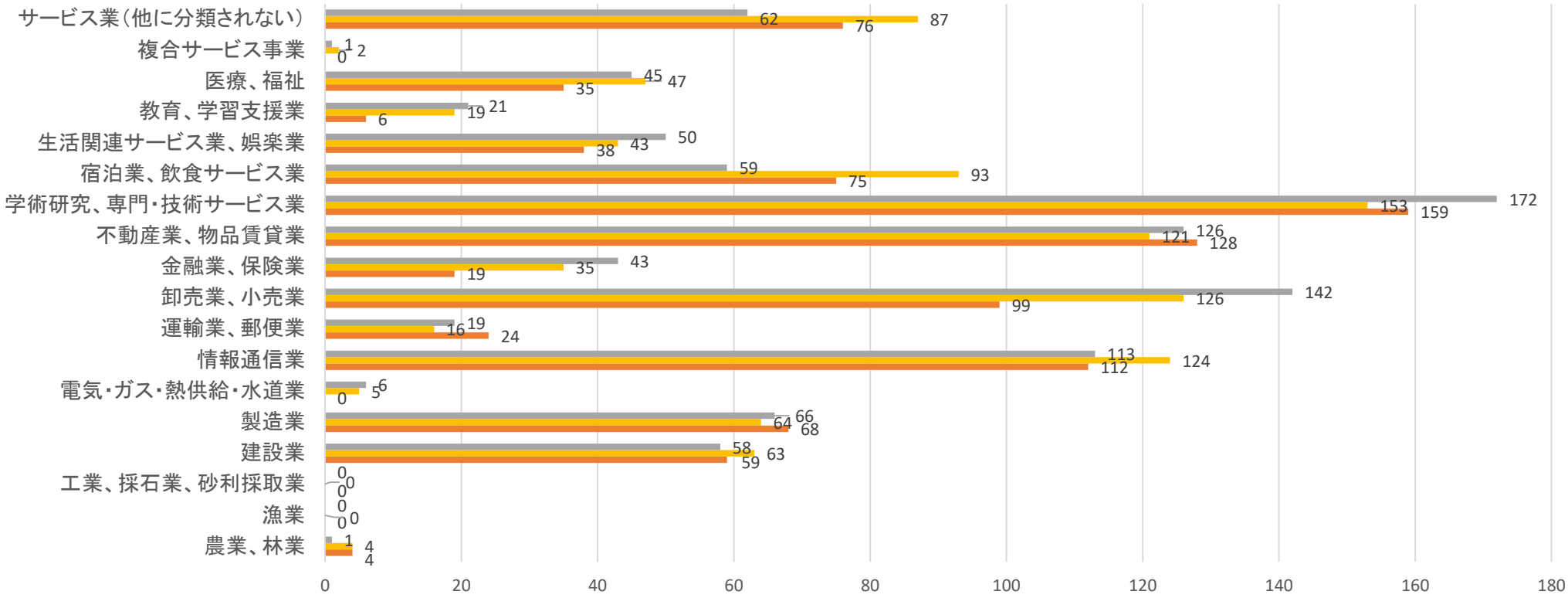
（資料）「大田区ものづくり産業等実態調査の実施及び結果検証等業務委託調査報告書」を基に作成

大田区の新設企業数(２０２０年～２０２２年)



（資料）「東京商工リサーチ　新設企業数」を基に作成

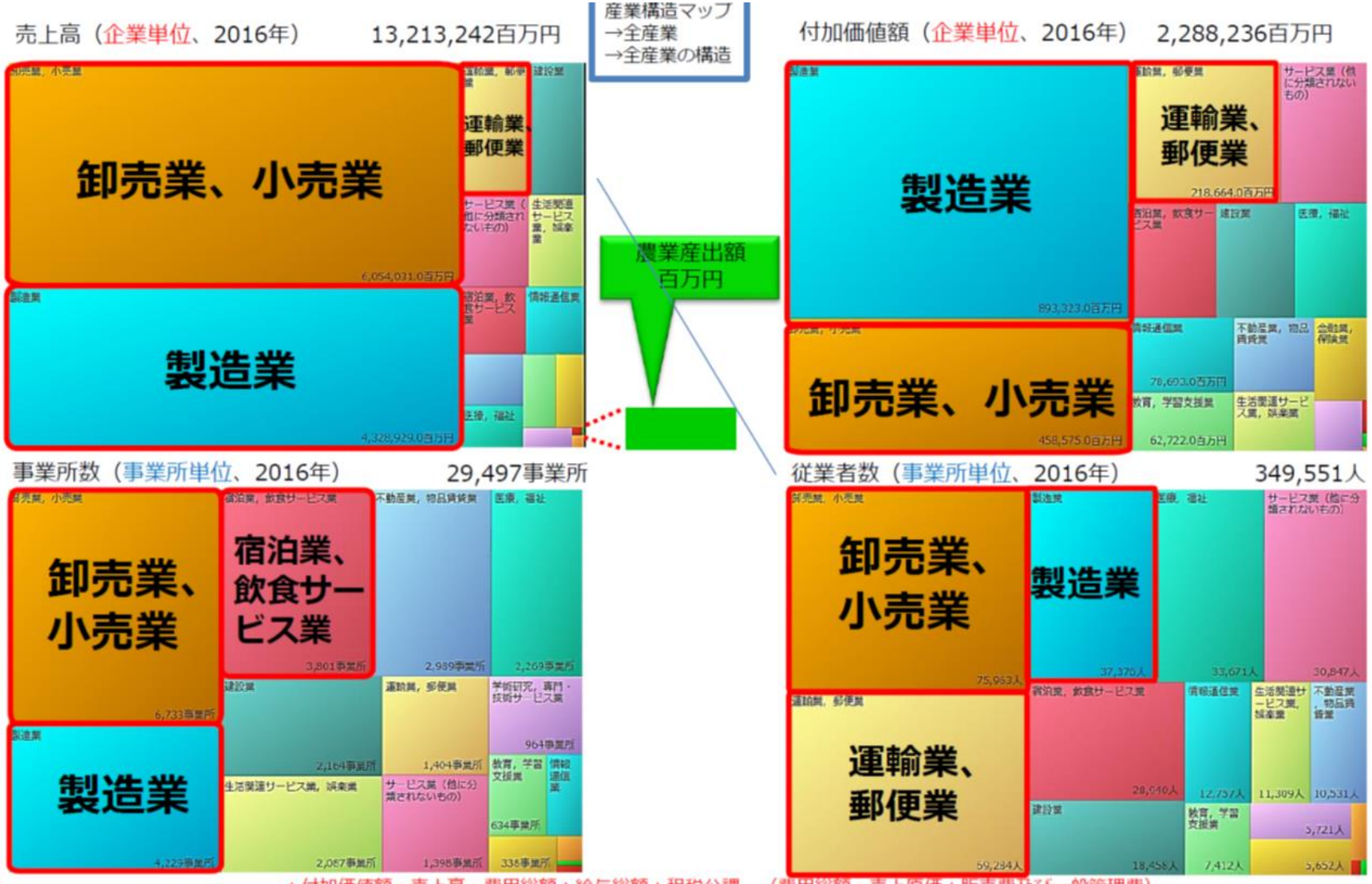
大田区の新設企業数　産業分類別　※2020.2021.2022比較



	農業、林業	漁業	工業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されない）
2020	1	0	0	58	66	6	113	19	142	43	126	172	59	50	21	45	1	62
2021	4	0	0	63	64	5	124	16	126	35	121	153	93	43	19	47	2	87
2022	4	0	0	59	68	0	112	24	99	19	128	159	75	38	6	35	0	76

（資料）「東京商工リサーチ　新設企業数」を基に作成

大田区産業集積の特徴（2016年）

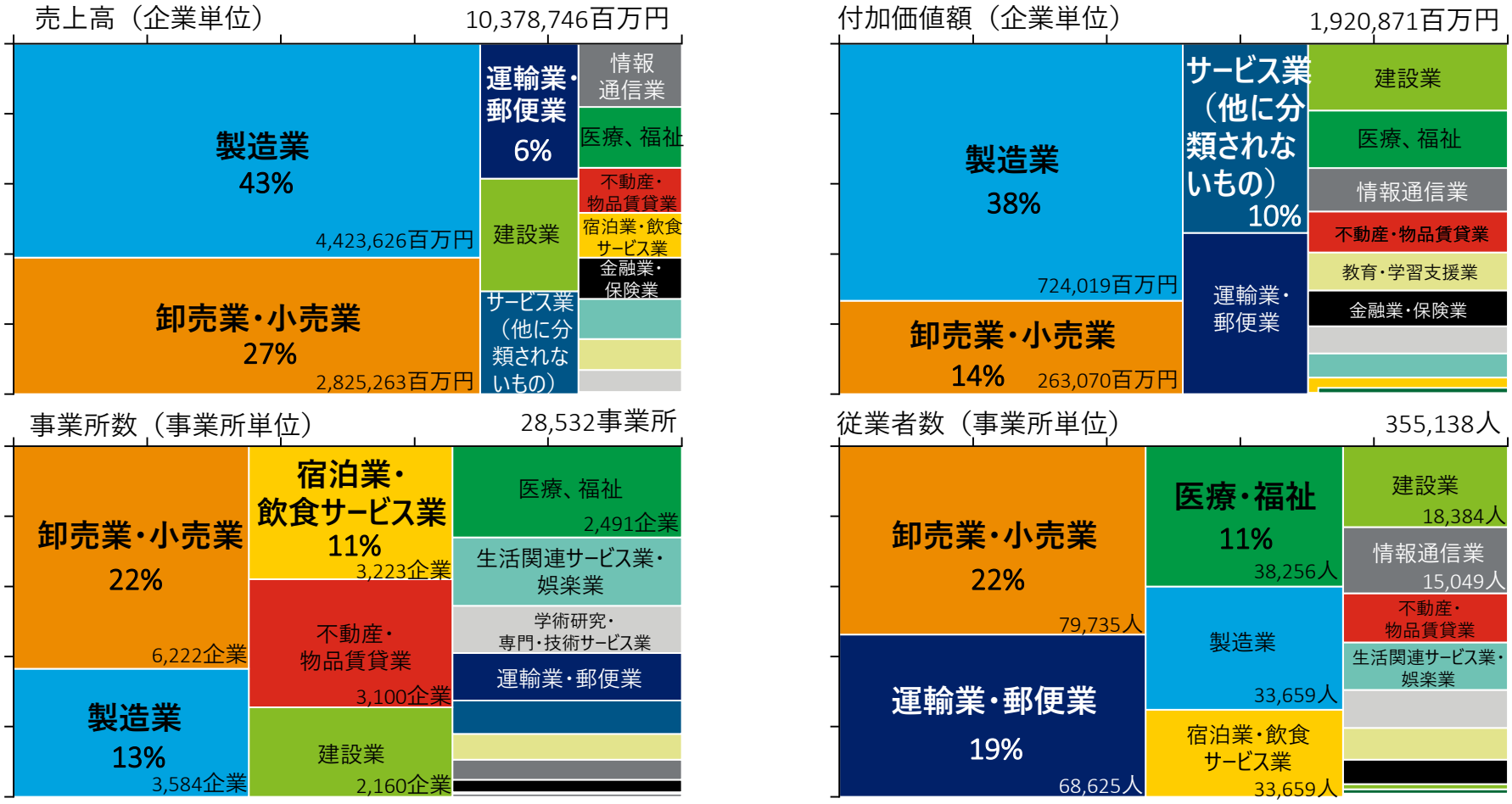


＊付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課　（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費）

（資料）総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」を再編加工

大田区産業において大きなウエイトを占める製造業、卸小売業を中心とする産業構造に変化はないが、売上高では、卸小売が大きく落ち込み順位が入れ替わっている。付加価値額では多くの産業において減少傾向にある。

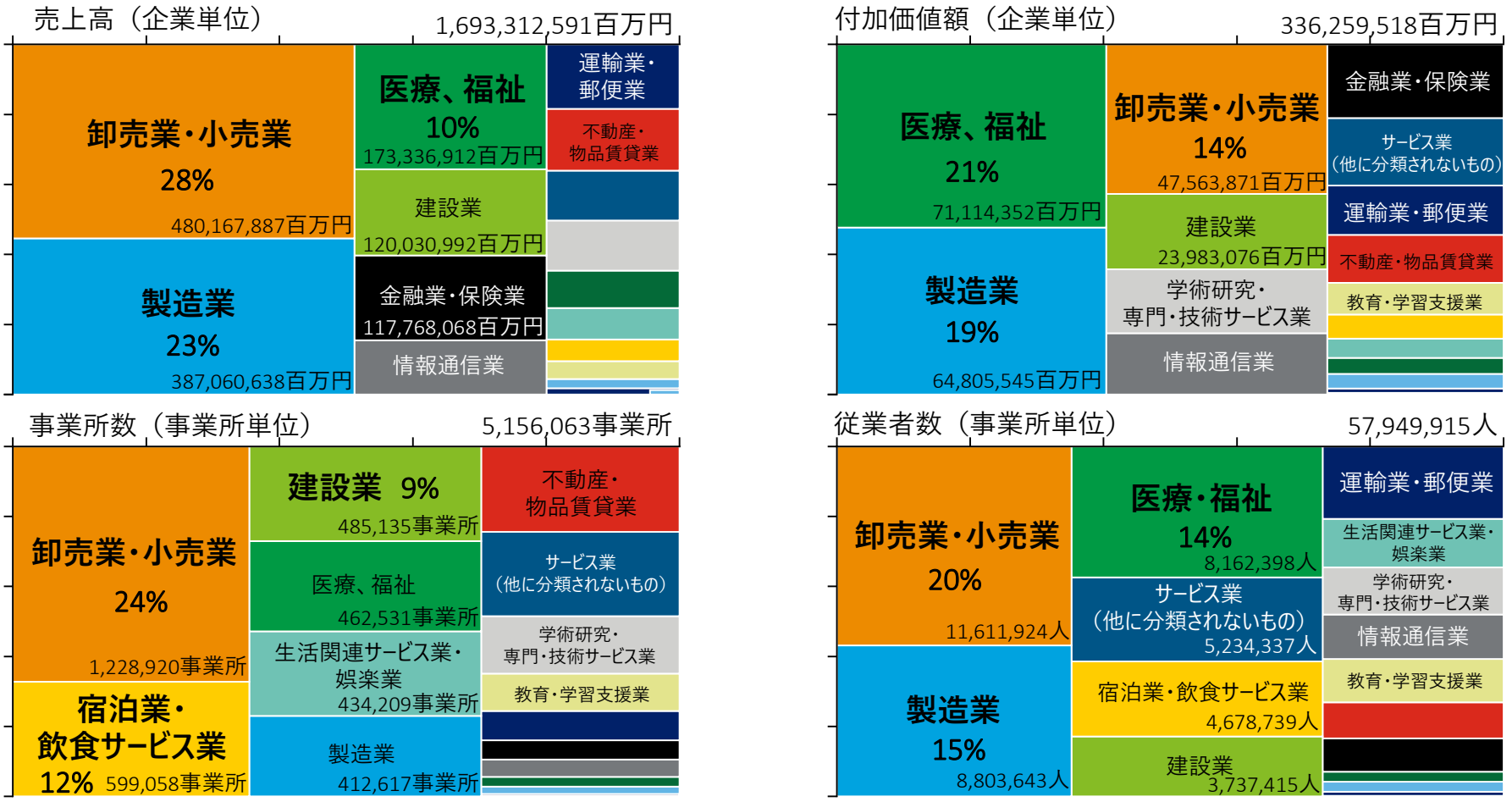
経済・事業規模からみた大田区の産業構造（2021年）



（資料）総務省「経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」を再編加工

企業単位では、売上・事業所数・従業者数において卸売業・小売業が多くを占め、付加価値へは医療・福祉分野が貢献

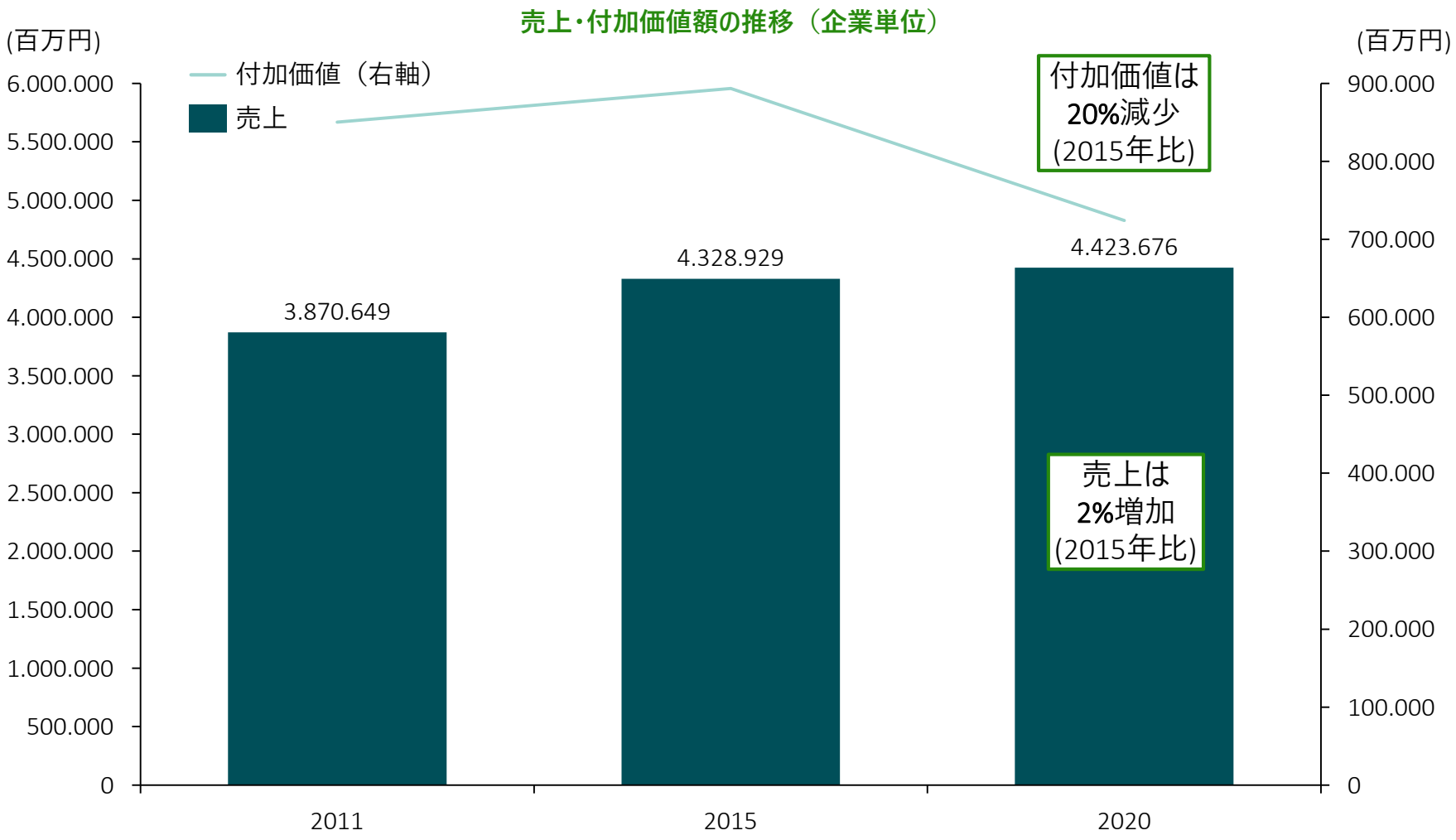
経済・事業規模からみた全国の産業構造（2021年）



（資料）総務省「経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」を再編加工

売上は2015年以降堅調に伸びるも、コロナ禍において減少し、前回比2%増加に留まった
付加価値額は雇用環境の悪化や中小企業のコスト削減が進まず減少したと考えられる

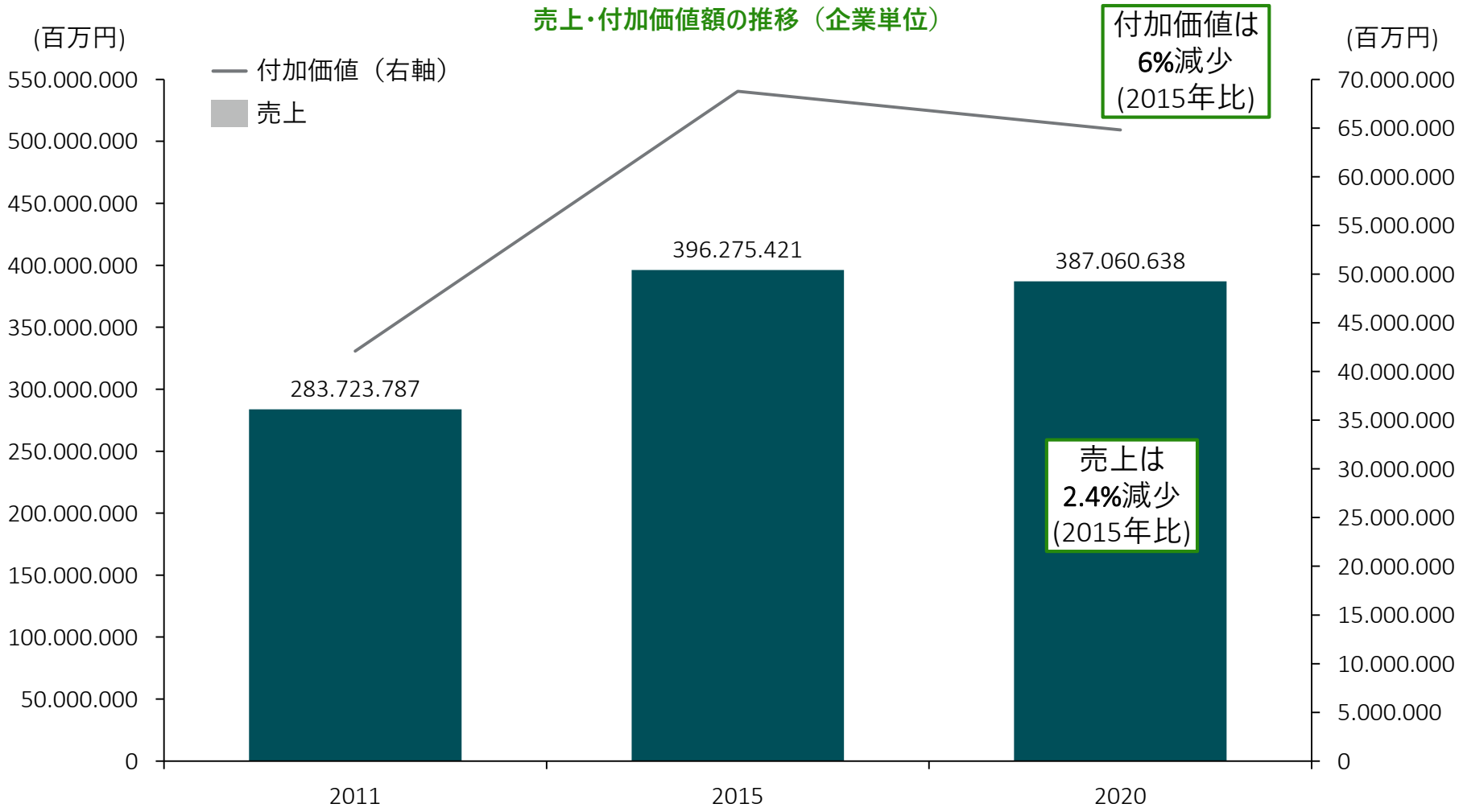
大田区の製造業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

全国の製造業における売上は主要産業である自動車産業の売上減が影響し減少、付加価値は、売上減少に加え名目賃金の減少が影響し減少幅を広げたと考えられる

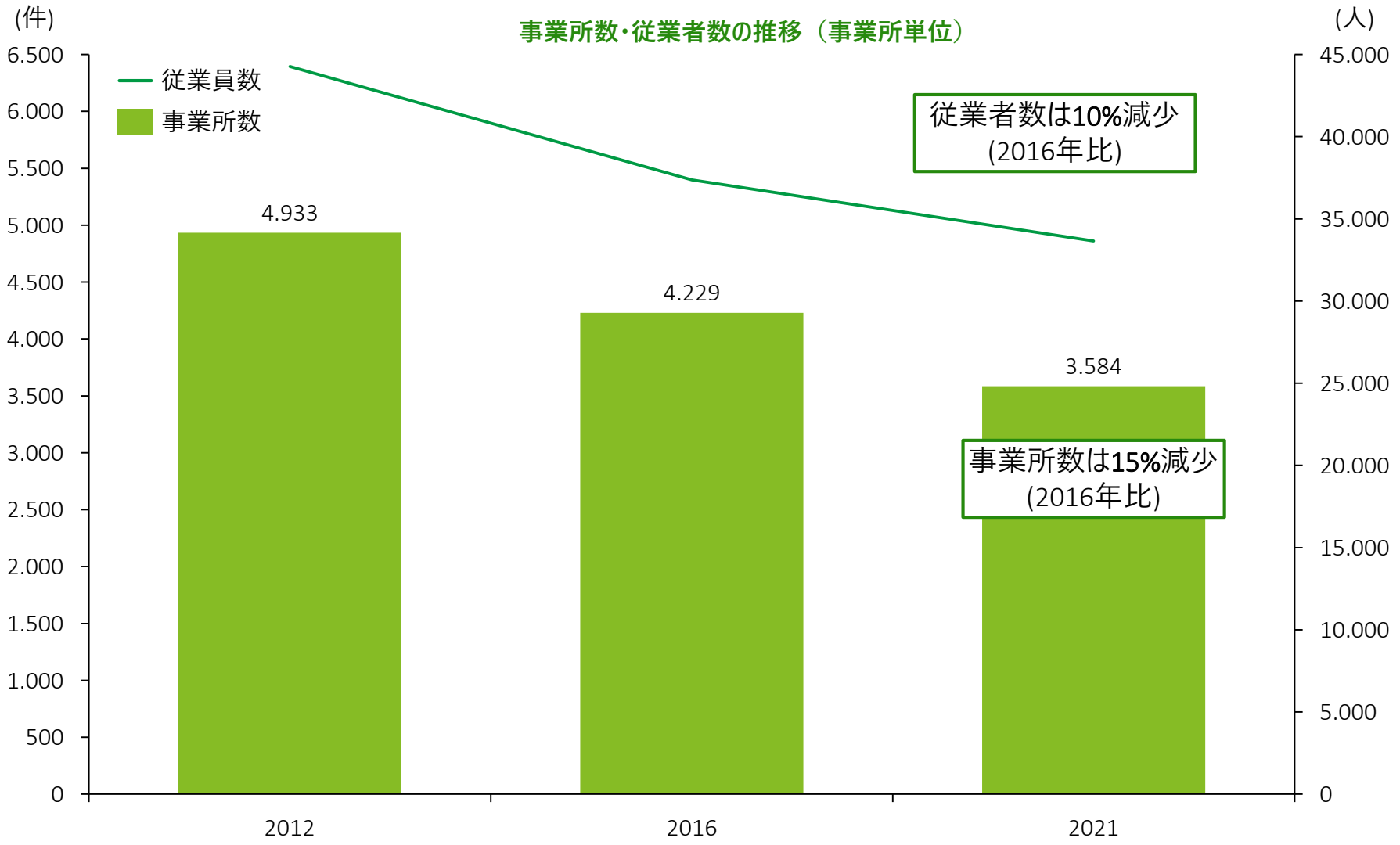
全国の製造業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

大田区の製造業において、事業所数、従業者数はともに減少傾向で推移

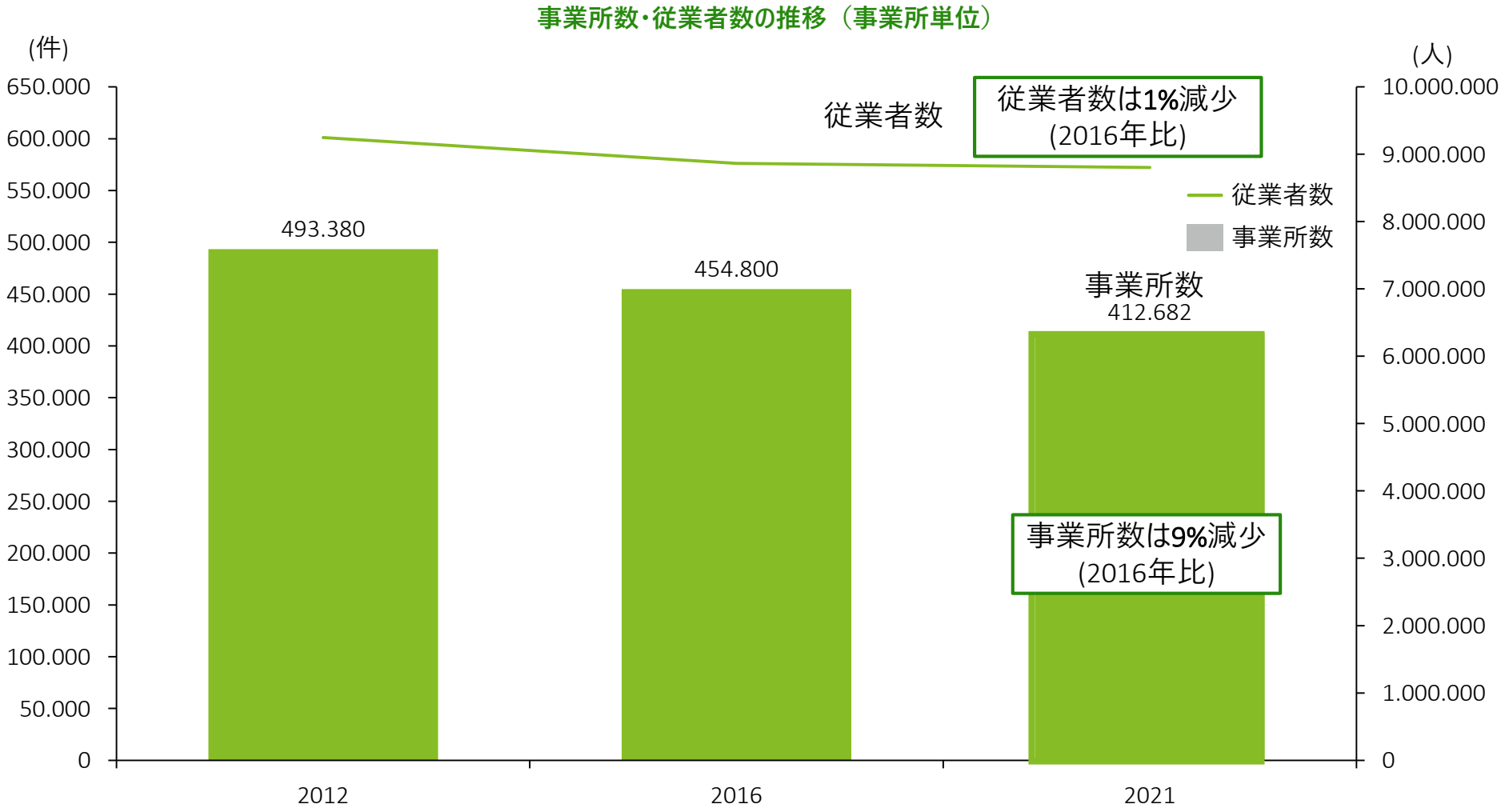
大田区製造業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

全国の製造業の事業所数、従業者数は大田区より小幅な減少幅に留まる。都心の地価高騰等の影響により、大田区においてはあきらめ廃業が他地域よりも多いと考えられる

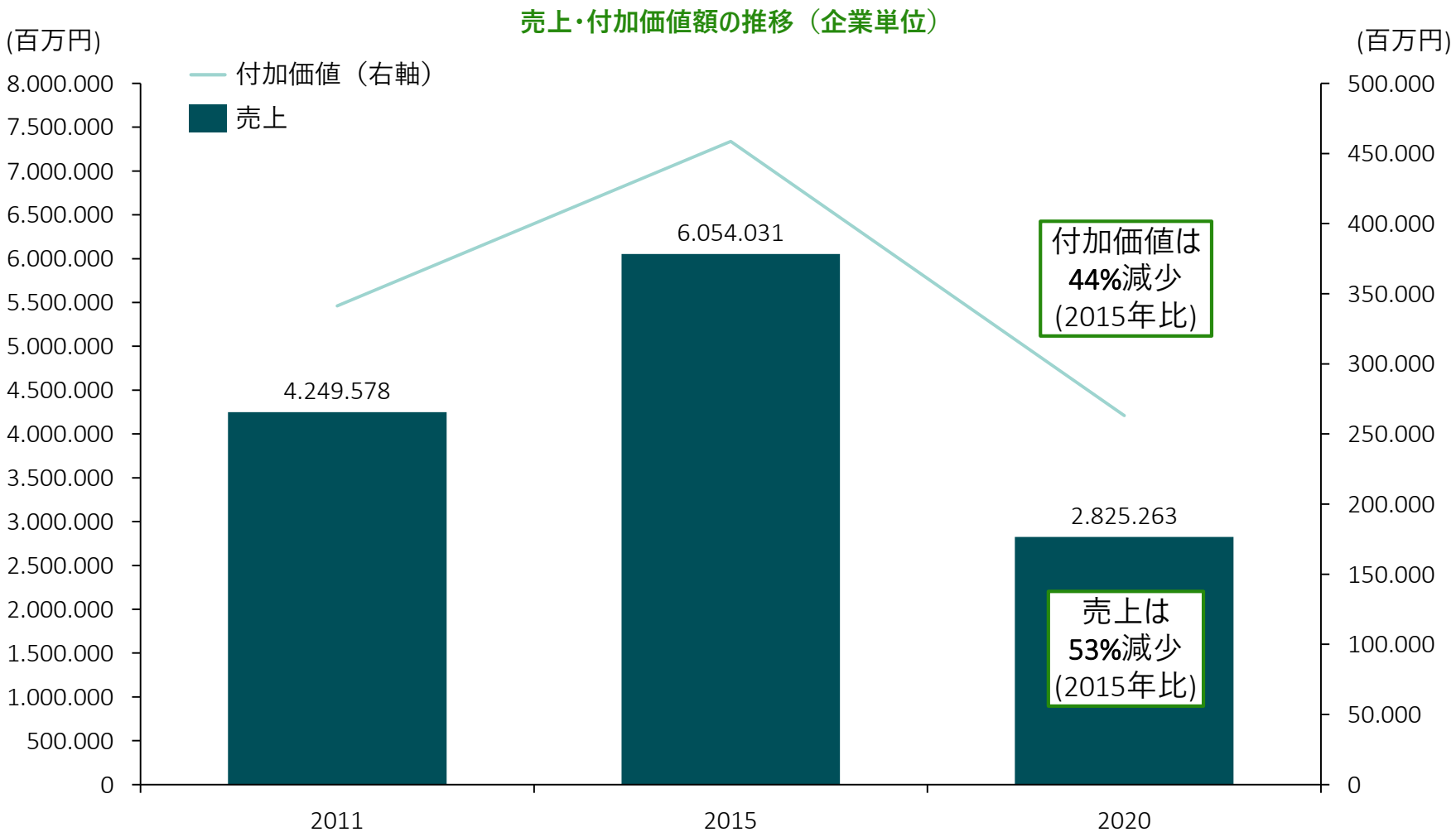
全国の製造業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

大田区の卸売業・小売業の売上及び付加価値は、2015年比で大きく減少

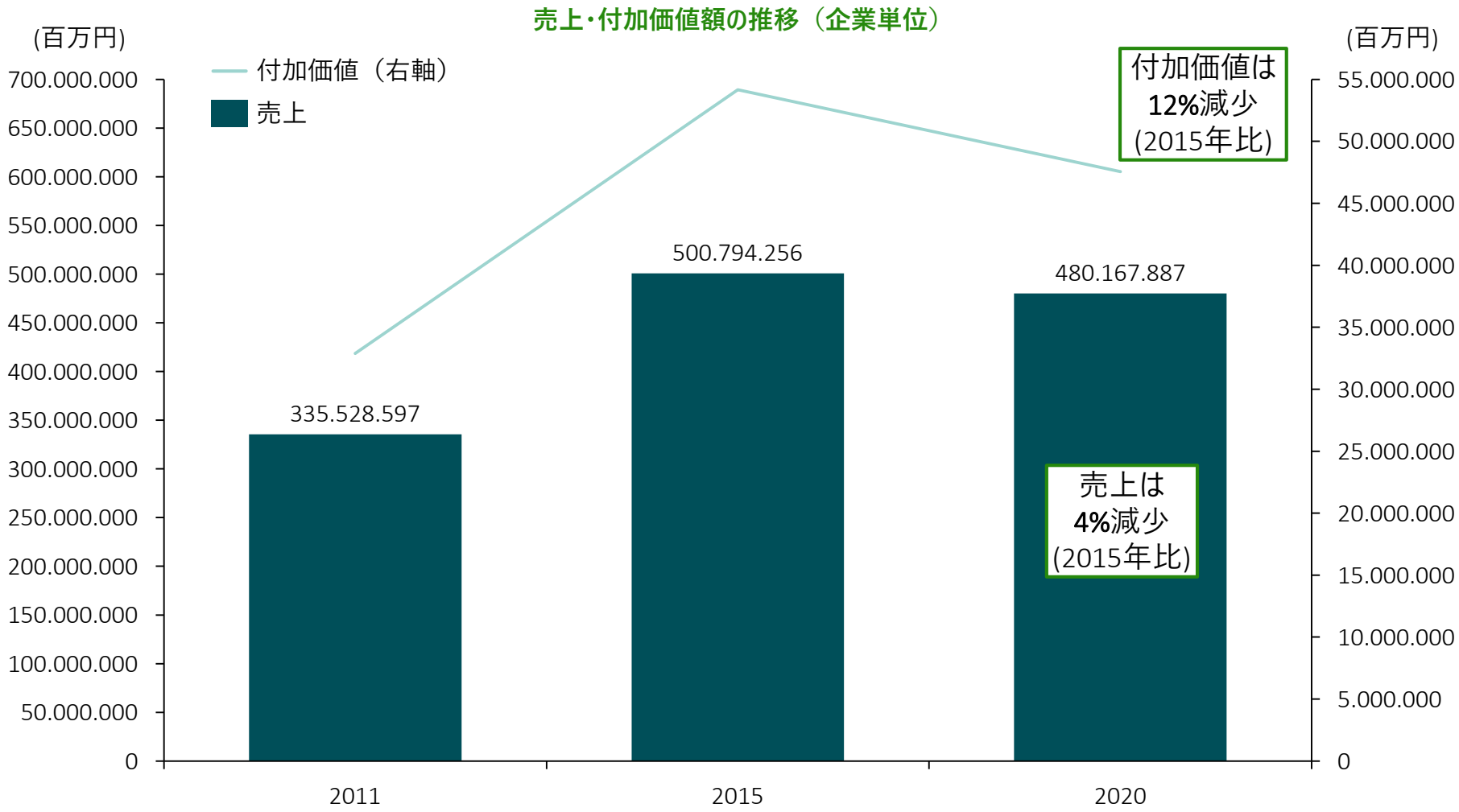
大田区の卸売業・小売業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

全国の卸売業・小売業の売上及び付加価値は、共に2015年比で減少

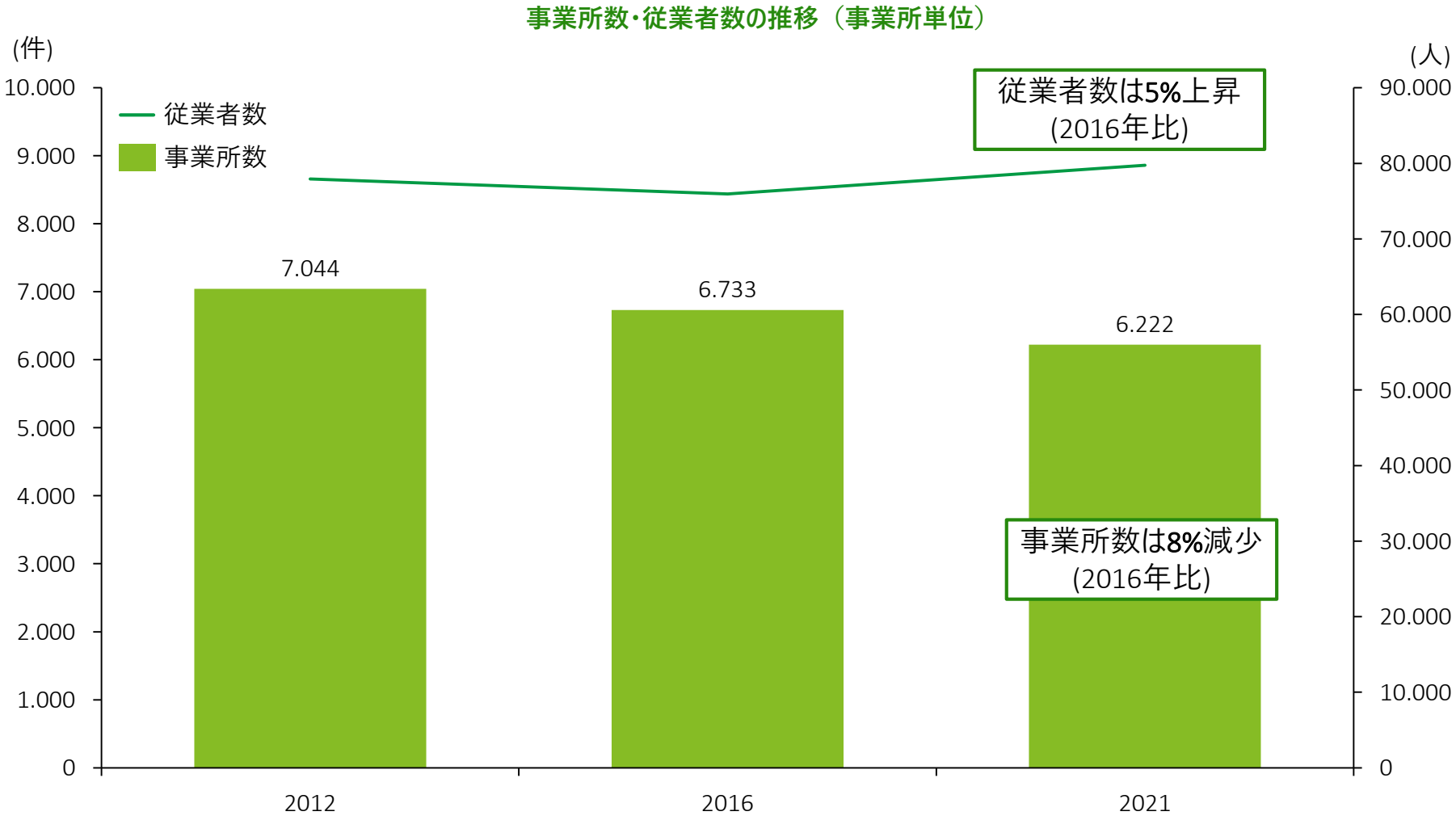
全国の卸売業・小売業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

大田区の卸売業・小売業の事業所数は2015年比で減少するも、従業者数は小幅に増加

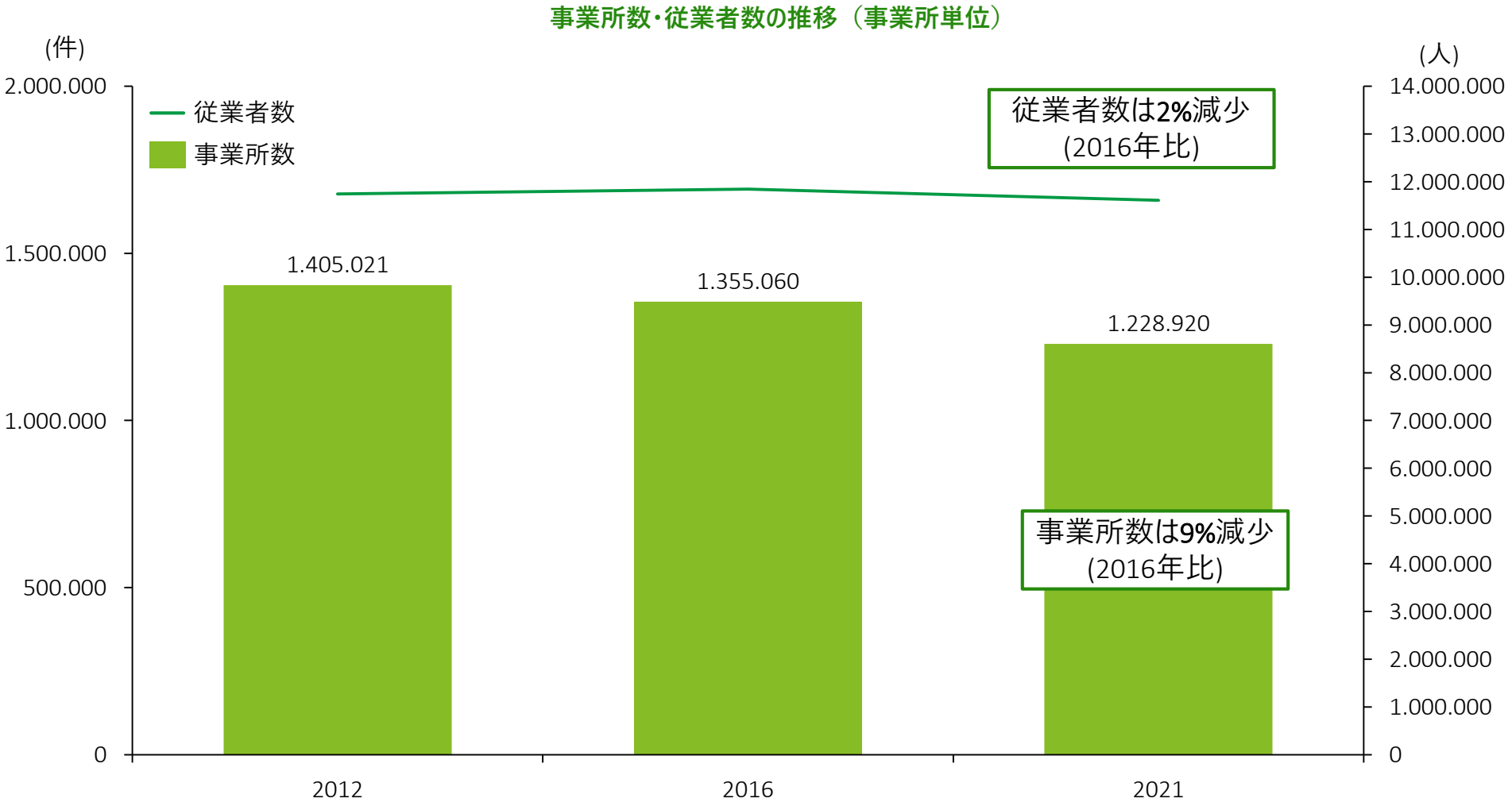
大田区の卸売業・小売業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

全国の卸売業・小売業の事業所数は、共に2015年比で減少

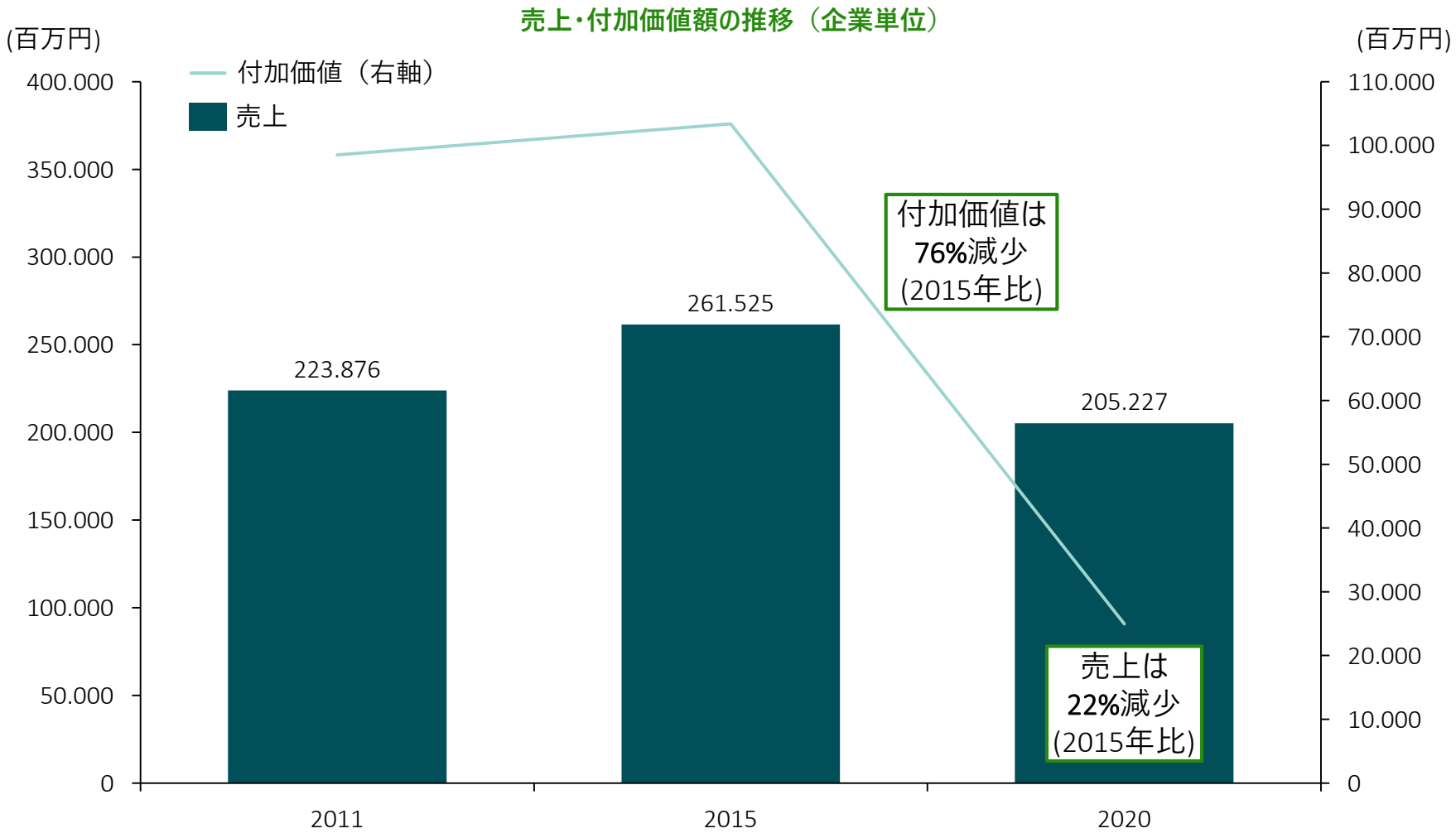
全国の卸売業・小売業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

大田区の宿泊業、飲食サービス業の売上・付加価値は共に2015年比で大きく減少

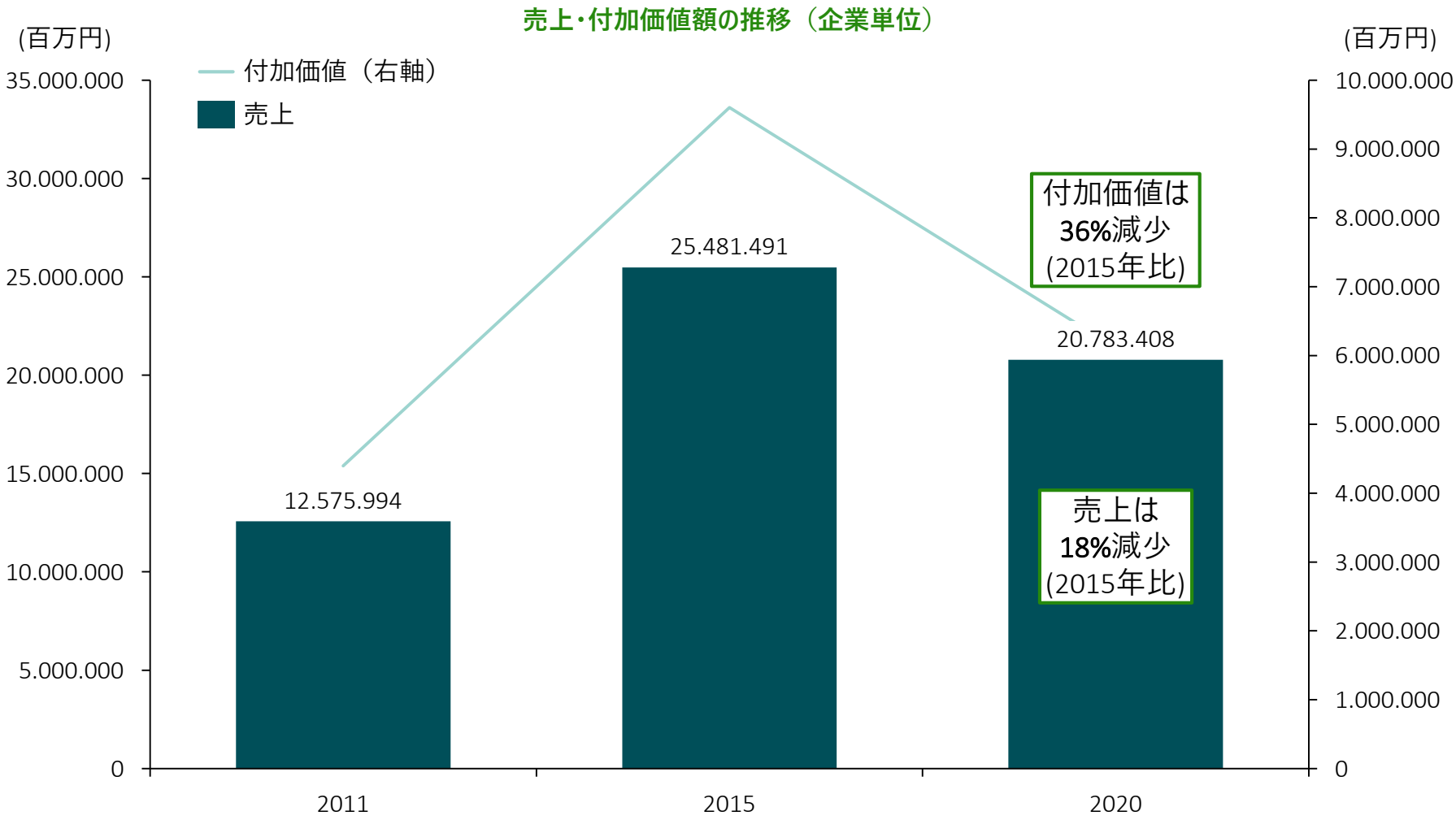
大田区の宿泊業、飲食サービス業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

全国の宿泊業、飲食サービス業の売上・付加価値は共に2015年比で大きく減少

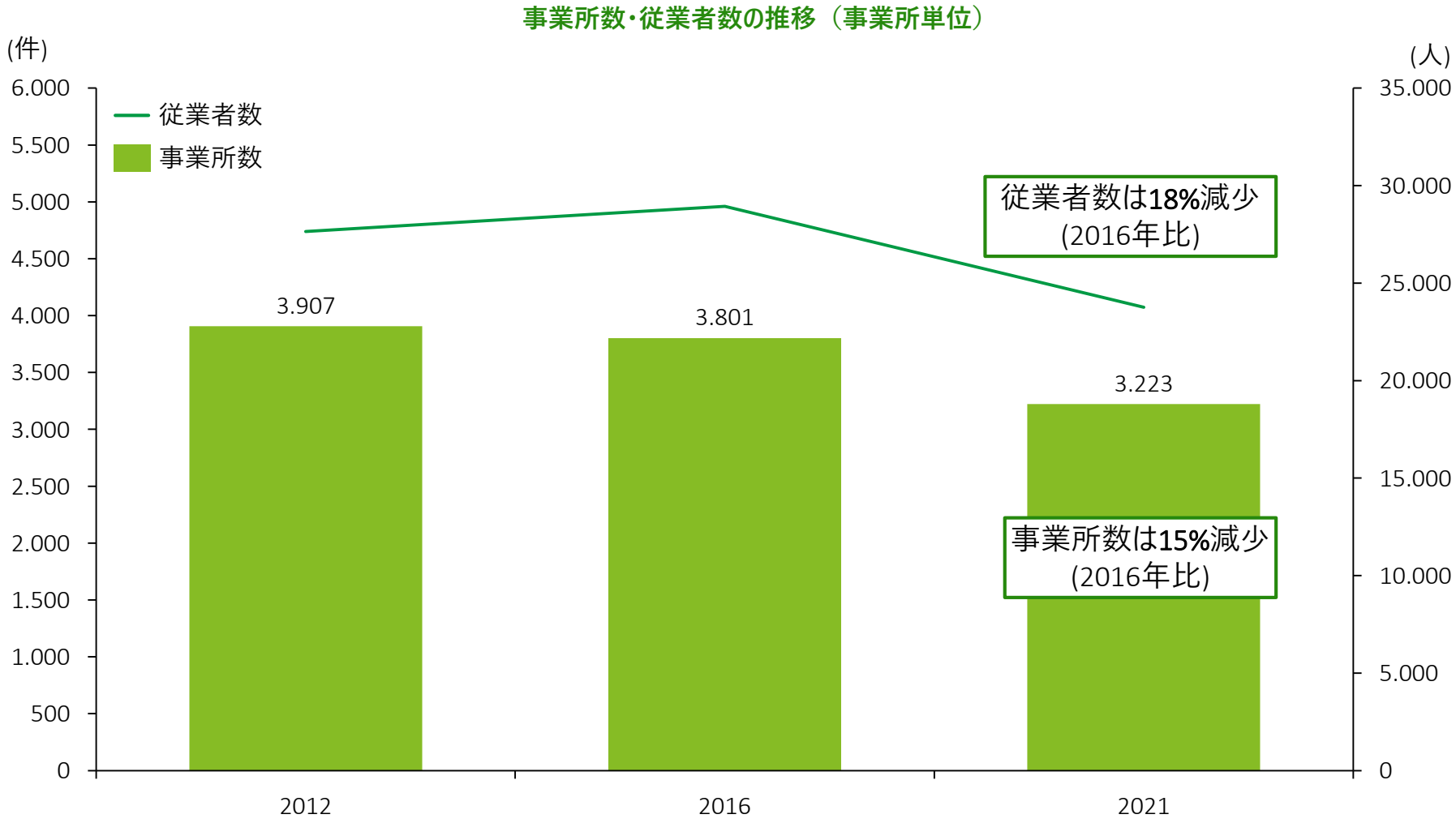
全国の宿泊業、飲食サービス業の売上・付加価値の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

大田区の宿泊業、飲食サービス業の事業所数・従業者数は共に2015年比で大きく減少

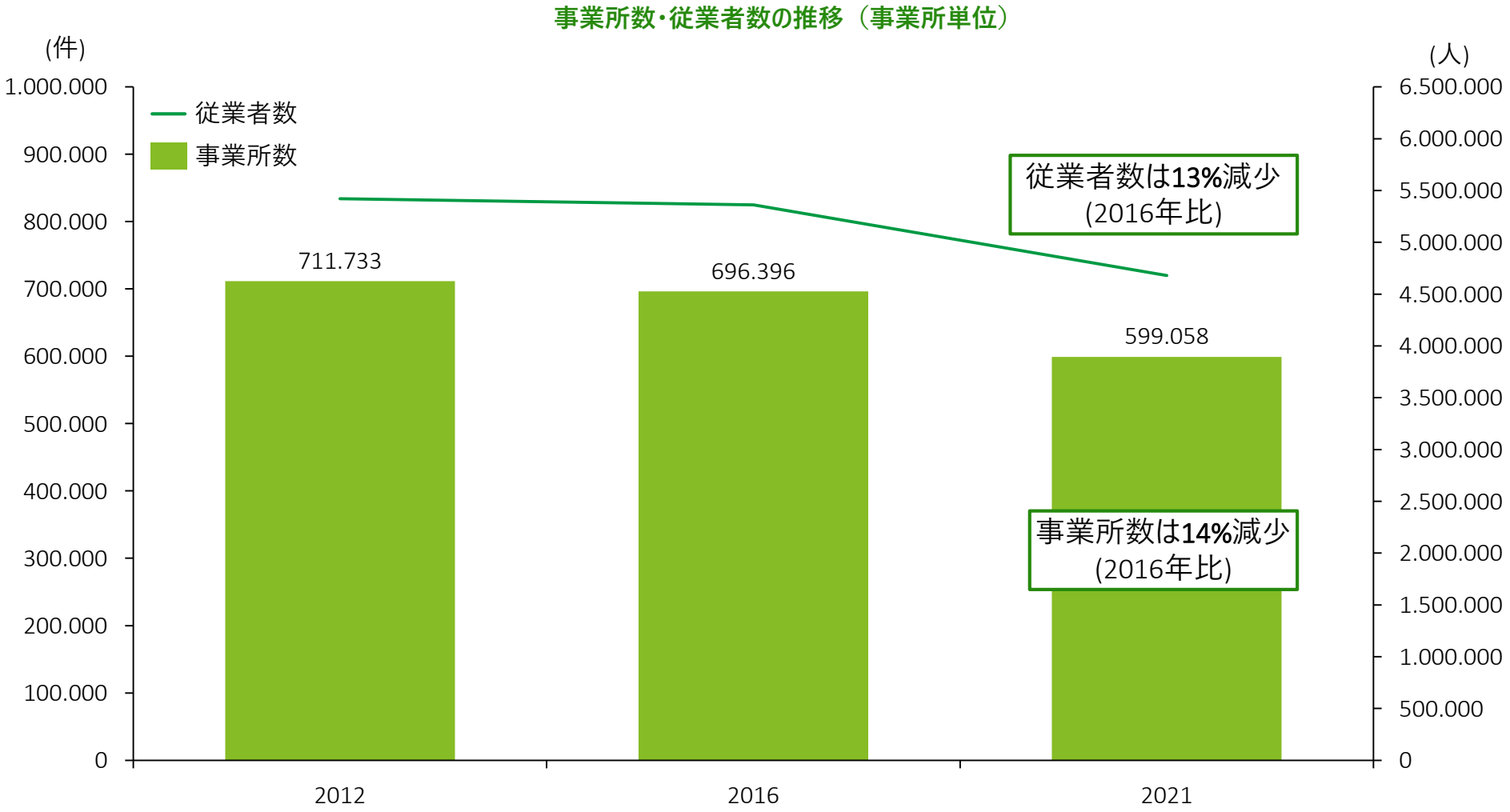
大田区の宿泊業、飲食サービス業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

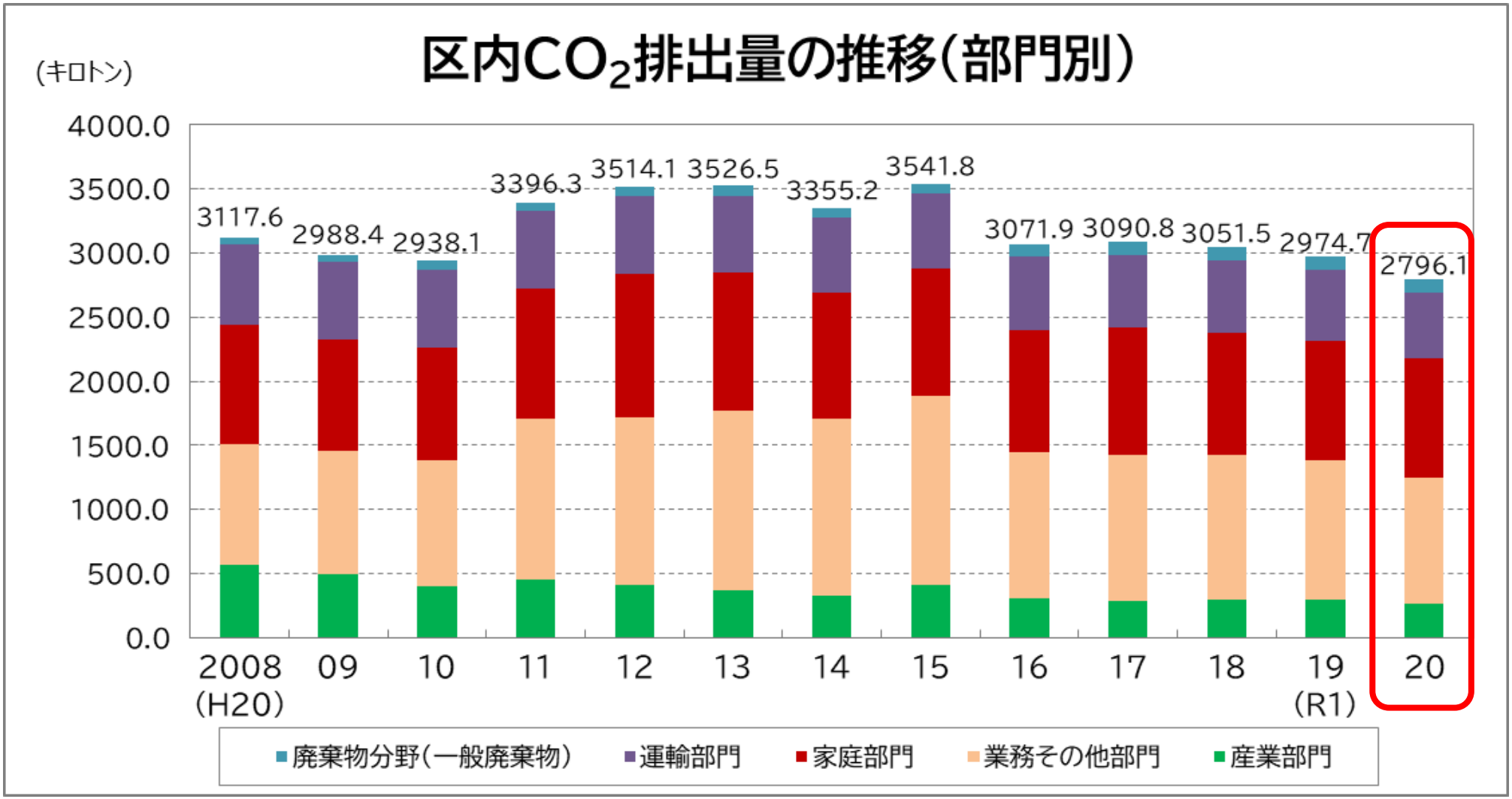
全国の宿泊業、飲食サービス業の事業所数・従業者数は共に2015年比で大きく減少

全国の宿泊業、飲食サービス業の事業所数・従業者数の推移



出所：総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

（３）環境関連データ



（資料）環境省「自治体排出量カルテ」を基に作成

２　第１回会議の振り返り等

（３）追加データ等
④転出理由

（３）転出者アンケート調査　概要

調査目的	大田区からの転出者に対して、住むまちを選択する上で何を重視したか等を聞き取ることにより、区の課題を抽出することを目的とする。
調査の設計	（１）調査の対象　東京都内（大田区を除く）、神奈川県、千葉県、埼玉県への転出者 （２）調査期間　令和４年４月18日から令和５年６月30日 （３）調査票配布数　約14,000人（令和５年６月30日時点　概算） （４）調査方法　戸籍住民課及び特別出張所における窓口配布
調査内容	○基本情報（年代、性別など） ○転出先 ○他自治体を居住地に選んだ理由 ○その他（まちのイメージ、自然環境、子育て支援など）
回収結果	回答者数　1,547件 回答率　約11%

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）転出後住所をご回答ください。（１つだけ選択）

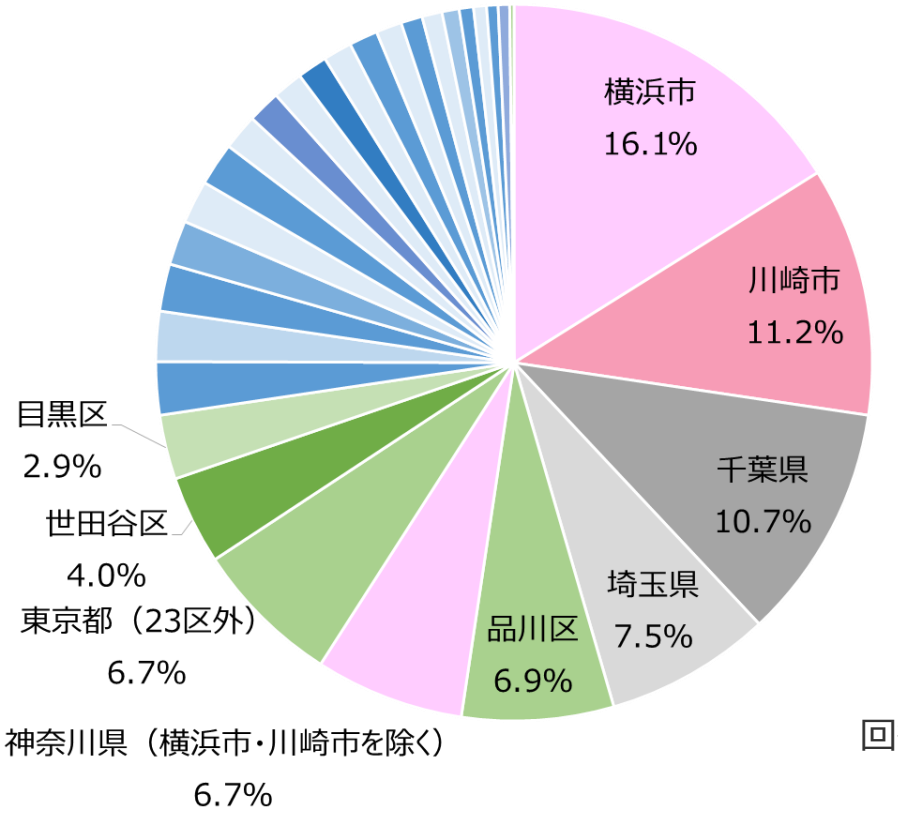
（回答結果）転出後第１位は「横浜市（16.1%）」

・転出後は「横浜市（16.1%）」、「川崎市（11.2%）」、「千葉県（10.7%）」の順となっている。

・23区では、「品川区（6.9%）」が最も多く、次いで「世田谷区」、「目黒区」の順となっている。

自治体	合計
横浜市	249
川崎市	174
千葉県	165
埼玉県	116
品川区	106
神奈川県（横浜市・川崎市を除く）	104
東京都（23区外）	103
世田谷区	62
目黒区	45
江東区	37
港区	35
板橋区	33
杉並区	31
墨田区	30
足立区	30
台東区	25
葛飾区	23
練馬区	21
中央区	21
中野区	20

※上位20番目まで



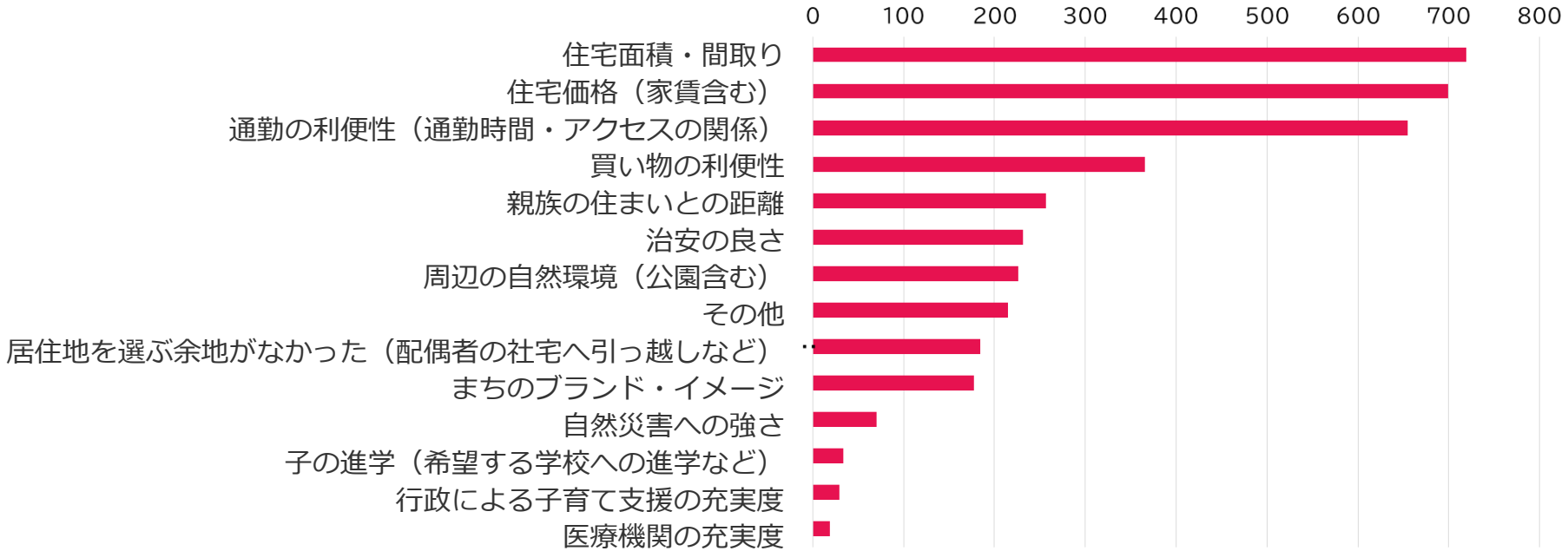
回答者数：1,547

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）転出先の居住地を選んだ理由をご回答ください。（上位３つまで選択）

（回答結果）第１位は「住宅面積・間取り」

・１位から３位までの合計数における第１位は、「住宅面積・間取り」であり、「住宅価格（家賃含む）」、「通勤の利便性（通勤時間・アクセスの関係）」がこれに次いでいる。



回答総数：3,893
回答者数：1,547

（３）転出者アンケート調査　結果

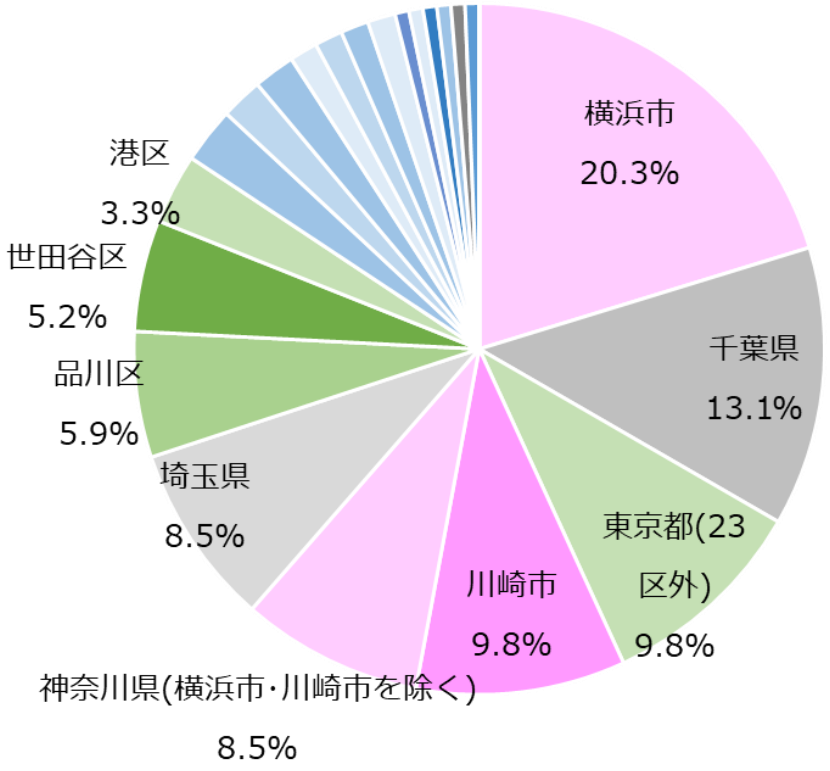
（質問）子供が１人以上かつ20代～40代の世帯に絞った、転出後住所（１つだけ選択）

（回答結果）転出後第１位は「横浜市（20.3%）」

・転出後は「横浜市（20.3%）」、「千葉県（13.1%）」、「東京都（23区外）（9.8%）」の順となっている。

・23区では、「品川区（5.9%）」が最も多く、次いで「世田谷区」、「港区」の順となっている。

自治体	合計
横浜市	31
千葉県	20
東京都(23区外)	15
川崎市	15
神奈川県(横浜市･川崎市を除く)	13
埼玉県	13
品川区	9
世田谷区	8
港区	5
江東区	4
杉並区	3
足立区	3
目黒区	2
練馬区	2
葛飾区	2
その他	2
中央区	1
新宿区	1
文京区	1
墨田区	1



回答者数：153

※上位20番目まで

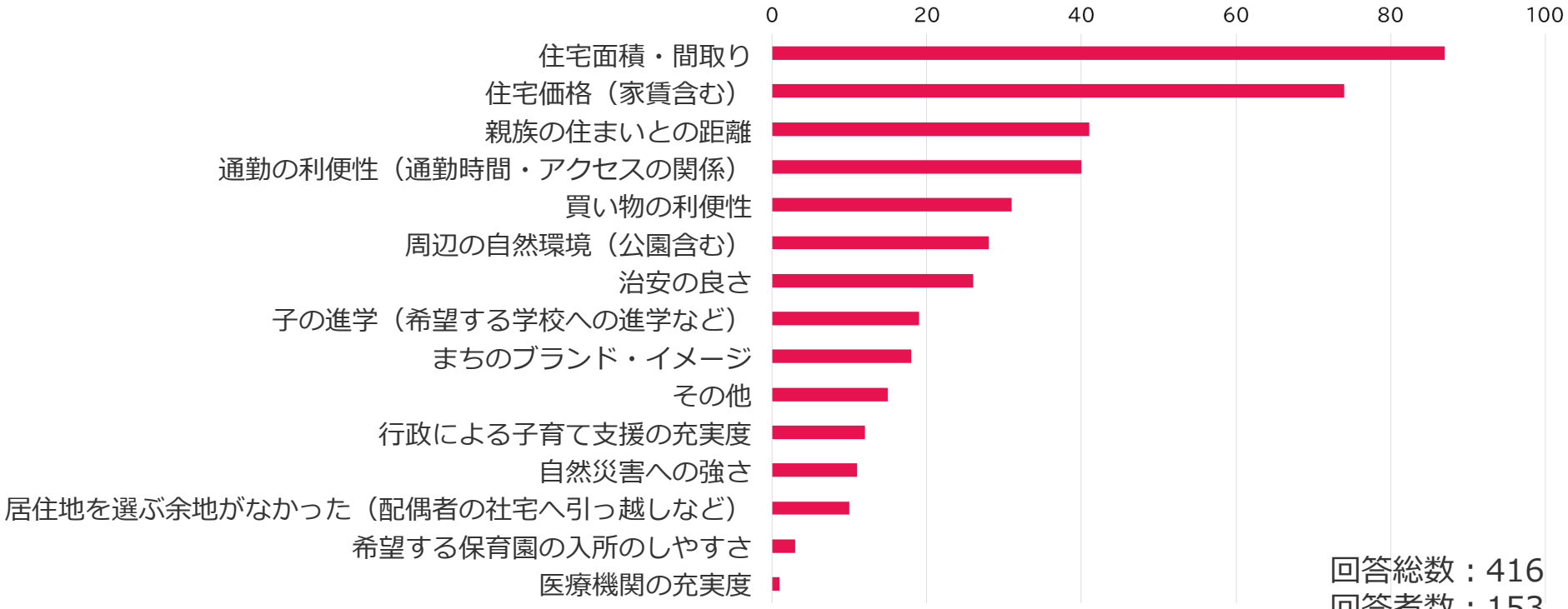
※クロス集計のため得票数が少ない点に注意

（３）転出者アンケート調査　結果

（質問）子供が１人以上かつ20代～40代の世帯に絞った、
転出先の居住地を選んだ理由（上位３つまで選択）

（回答結果）第１位は「住宅面積・間取り」

・１位から３位までの合計数における第１位は、「住宅面積・間取り」であり、「住宅価格（家賃含む）」、「親族の住まいとの距離」がこれに続いている。



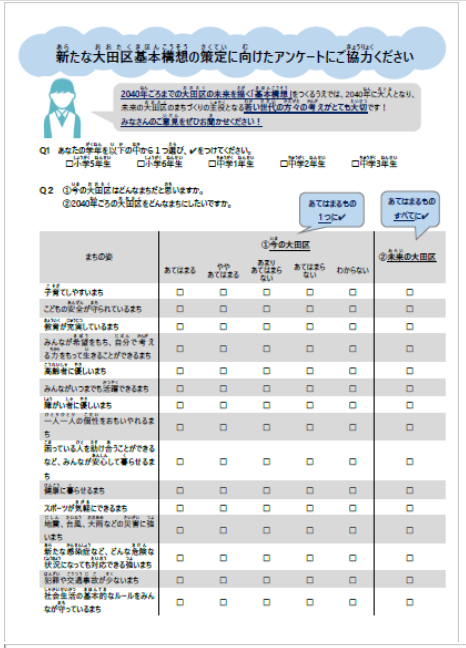
回答総数：416
回答者数：153

※クロス集計のため得票数が少ない点に注意

3　アンケート結果等の区民意見の報告（速報）

3　アンケート実施概要

調査目的	大田区の目指すべき将来像を示す「大田区基本構想」の策定に向けて、広くあらゆる世代の区民のみなさまのご意見を伺う
アンケートの概要	①30個のまちの姿について、「今の大田区」にどの程度あてはまるかを選択 ②同じ30個のまちの姿について、未来にこんなまちになってほしいと思うまちの姿にあてはまるものを選択 ③「未来にこんなまちになって欲しい」という意見を自由に記述
対象者	区内在住・在勤・在学の方
配布・回収方法	インターネット・FAX・郵送
調査期間	７月14日から９月11日まで
回答数	（※７月31日時点） 小中学生：11,651件 大人（高校生以上）：4,069件 合計：15,720件 （上記のうち区立小中学校を通じた回答数 小中学生：11,614件　　保護者：3,418件）


新たな大田区基本構想の策定に向けたアンケートにご協力ください

2040年ごろまでの大田区の未来を描く「基本構想」をつくるうえでは、2040年に大人となり、未来の大田区のまちづくりの主役となる若い世代の方々の考えがとても大切です！
みなさんのご意見をぜひお聞かせください！

Q1　あなたの学年を以下の中から1つ選び、✔をつけてください。
□小学5年生　□小学6年生　□中学1年生　□中学2年生　□中学3年生

Q2　①今の大田区はどんなまちだと思いますか。
②2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。

あてはまるもの1つに✔　あてはまるものすべてに✔

まちの姿	①今の大田区 あてはまる	やや あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない	わからない	②未来の大田区
子育てしやすいまち	□	□	□	□	□	□
こどもの安全が守られているまち	□	□	□	□	□	□
教育が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
みんなが多様なもち、自分で考える力をもって生きることができるまち	□	□	□	□	□	□
高齢者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
みんながいつまでも活躍できるまち	□	□	□	□	□	□
障がい者に優しいまち	□	□	□	□	□	□
一人一人の個性をおもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
困っている人を助け合うことができるなど、みんなが安心して暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
健康に暮らせるまち	□	□	□	□	□	□
スポーツが気軽にできるまち	□	□	□	□	□	□
地震、台風、大雨などの災害に強いまち	□	□	□	□	□	□
新たな感染症など、どんな危険な状況になっても対応できる強いまち	□	□	□	□	□	□
犯罪や交通事故が少ないまち	□	□	□	□	□	□
社会生活の基本的なルールをみんなが守っているまち	□	□	□	□	□	□
鉄道やバスなどの交通が便利で移動しやすいまち	□	□	□	□	□	□
多くの人が集まり、元気のあるまち	□	□	□	□	□	□
水や緑と触れ合えるまち	□	□	□	□	□	□
休日や休めたり遊んだりすることができる、公園などが多くあるまち	□	□	□	□	□	□
住んでいる地域の人たちのつながりが強く、みんなで協力しあえるまち	□	□	□	□	□	□
デジタル化が進んだ便利なまち	□	□	□	□	□	□
国や地域などが異なる様々なお互いを理解し、おもいやれるまち	□	□	□	□	□	□
工場や会社や商店などの産業・経済に活力があるまち	□	□	□	□	□	□
新しいビジネスやサービスが生まれるまち	□	□	□	□	□	□
文化や芸術が充実しているまち	□	□	□	□	□	□
区外から多くの人が訪れるまち	□	□	□	□	□	□
区民がまちを自慢でき、愛する心を持てるまち	□	□	□	□	□	□
地球環境を守り、豊かな暮らしを受け継いでいくまち	□	□	□	□	□	□
みんなで環境にやさしい行動をとっているまち	□	□	□	□	□	□
海の国の人が、仕事や旅行などで訪れたくなる魅力あるまち	□	□	□	□	□	□

Q3　まちの未来の姿に関するご意見がありましたら、自由に記入してください。
※個人情報は記載しないようお願いします。

この調査についてのお問い合わせはこちら
大田区企画調整部企画調整　調査・企画担当　☎03-5744-1735

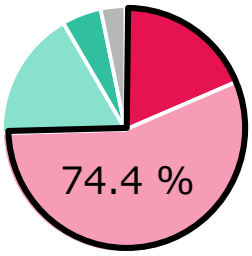
3　アンケート結果概要　※7月31日時点

大人が思う今の大田区のまちの姿

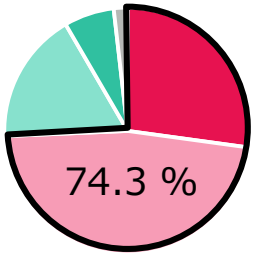


※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

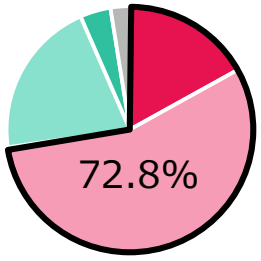
① 子育てしやすいまち



② 交通の利便性がよいまち

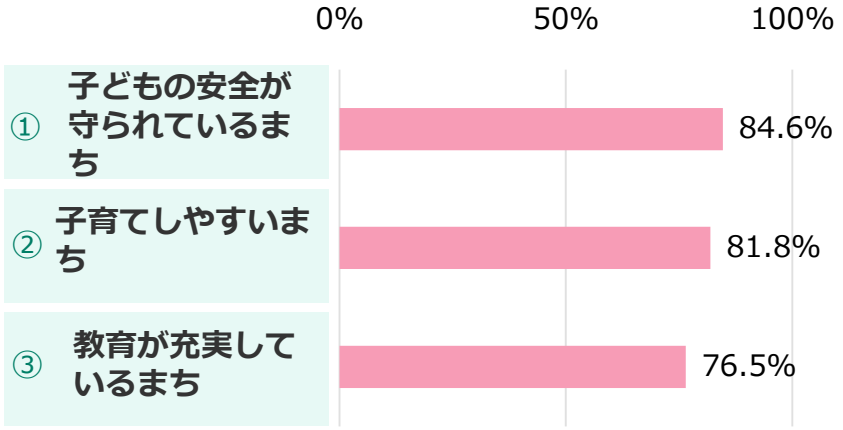


③ にぎわいのあるまち

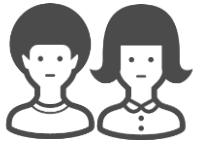


■ あてはまる　■ ややあてはまる　■ あまりあてはまらない
■ あてはまらない　■ わからない

大人が望む2040年ごろの大田区のまちの姿

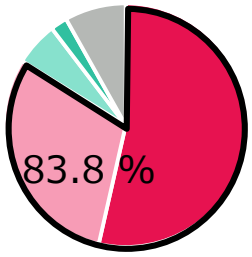


子どもが思う今の大田区のまちの姿

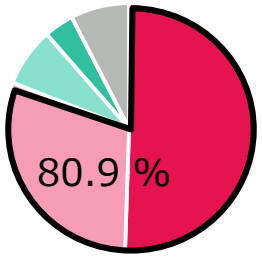


※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

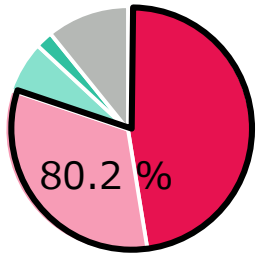
① 交通の利便性がよいまち



② 公園など憩いの場が充実しているまち

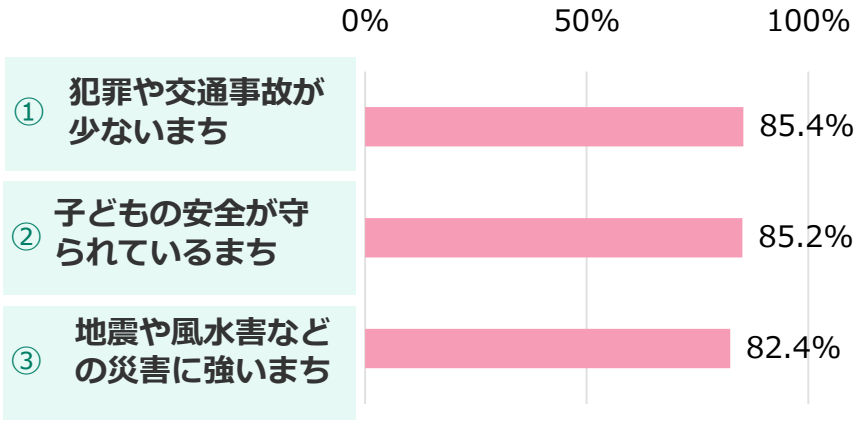


③ 健康に暮らせるまち



■ あてはまる　■ ややあてはまる　■ あまりあてはまらない
■ あてはまらない　■ わからない

子どもが望む2040年ごろの大田区のまちの姿

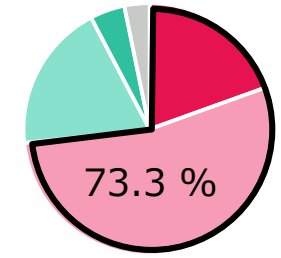


3　アンケート結果概要　※7月31日時点

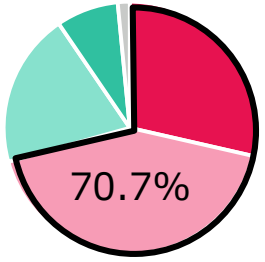
大人・一般が思う今の大田区のまちの姿

※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

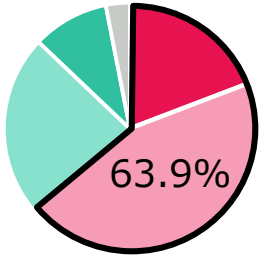
①　にぎわいのあるまち



②　交通の利便性がよいまち

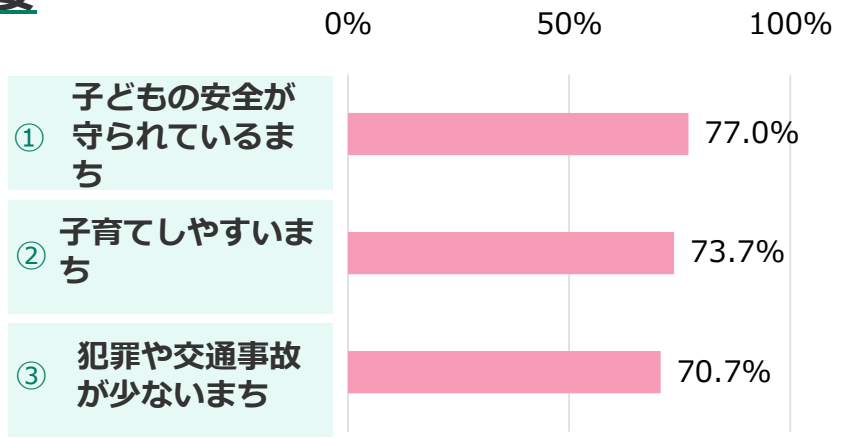


③　水や緑と触れ合えるまち



■あてはまる　■ややあてはまる　■あまりあてはまらない
■あてはまらない　■わからない

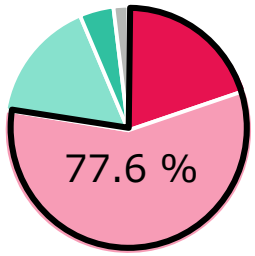
大人・一般が望む2040年ごろの大田区のまちの姿



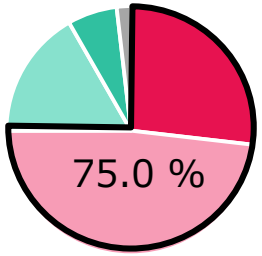
大人・保護者が思う今の大田区のまちの姿

※「あてはまる」・「ややあてはまる」合計値上位３項目

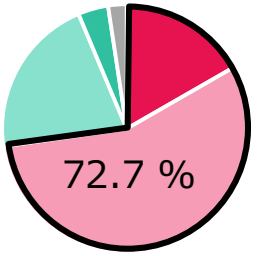
①　子育てしやすいまち



②　誰もが希望をもって自分らしく生きることができるまち

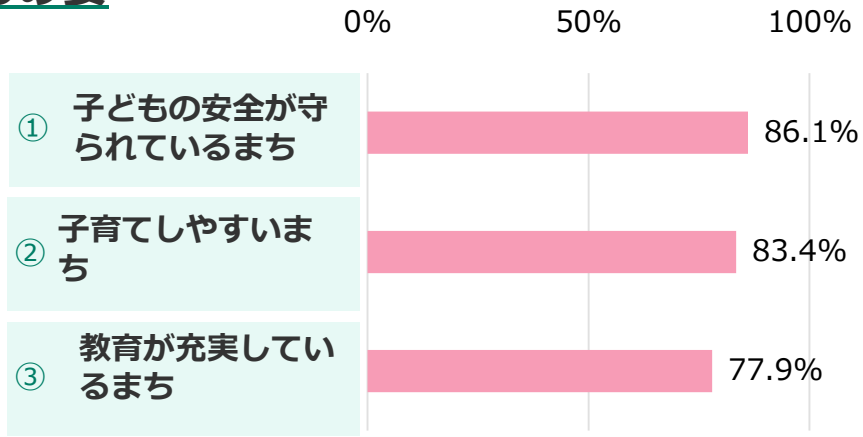


③　誰もが安心して暮らせる福祉が充実しているまち



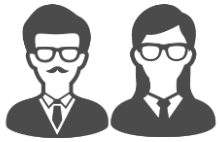
■あてはまる　■ややあてはまる　■あまりあてはまらない
■あてはまらない　■わからない

大人・保護者が望む2040年ごろの大田区のまちの姿

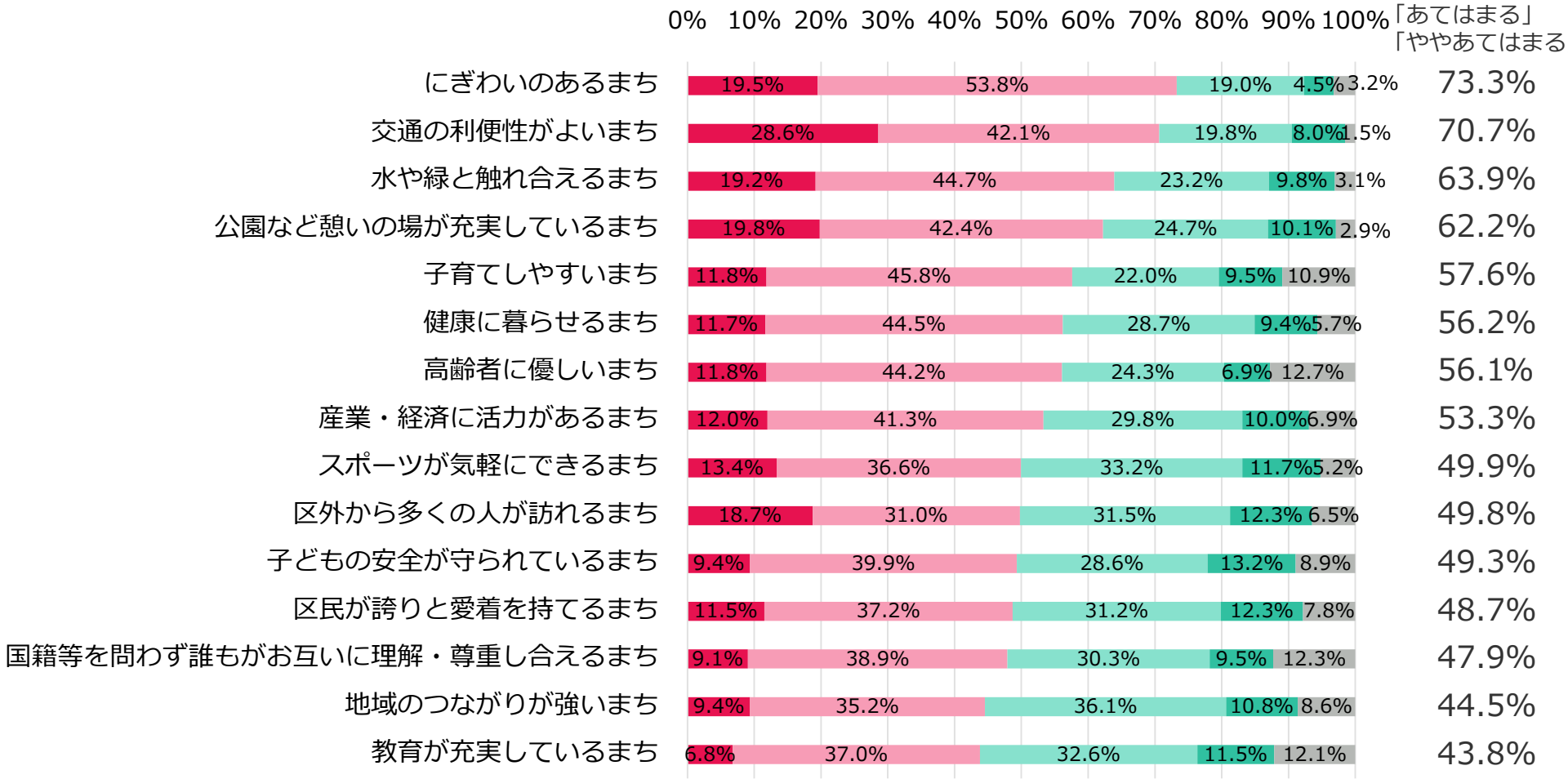


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

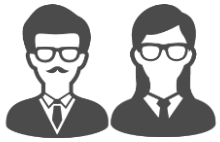


今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

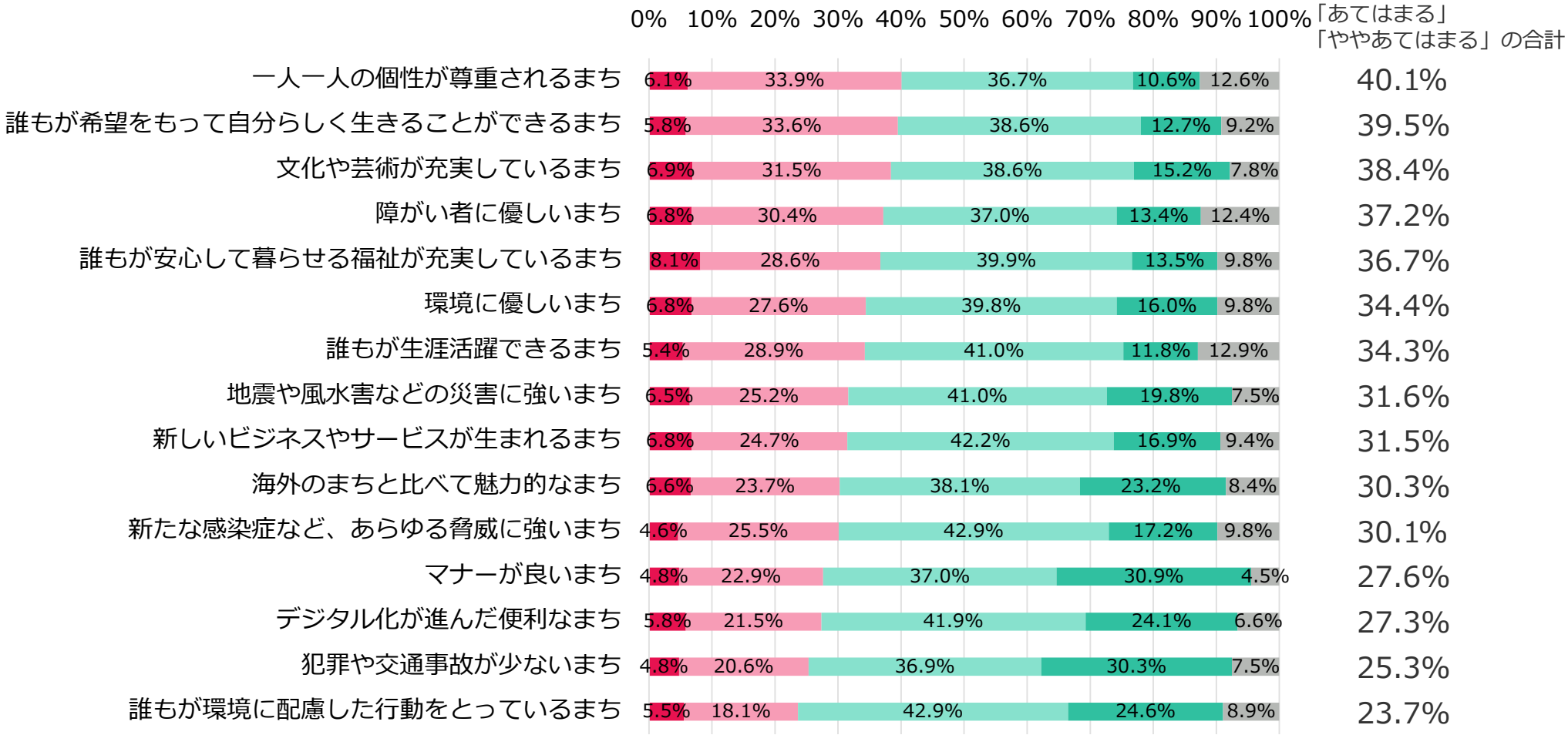


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

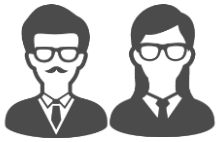


今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

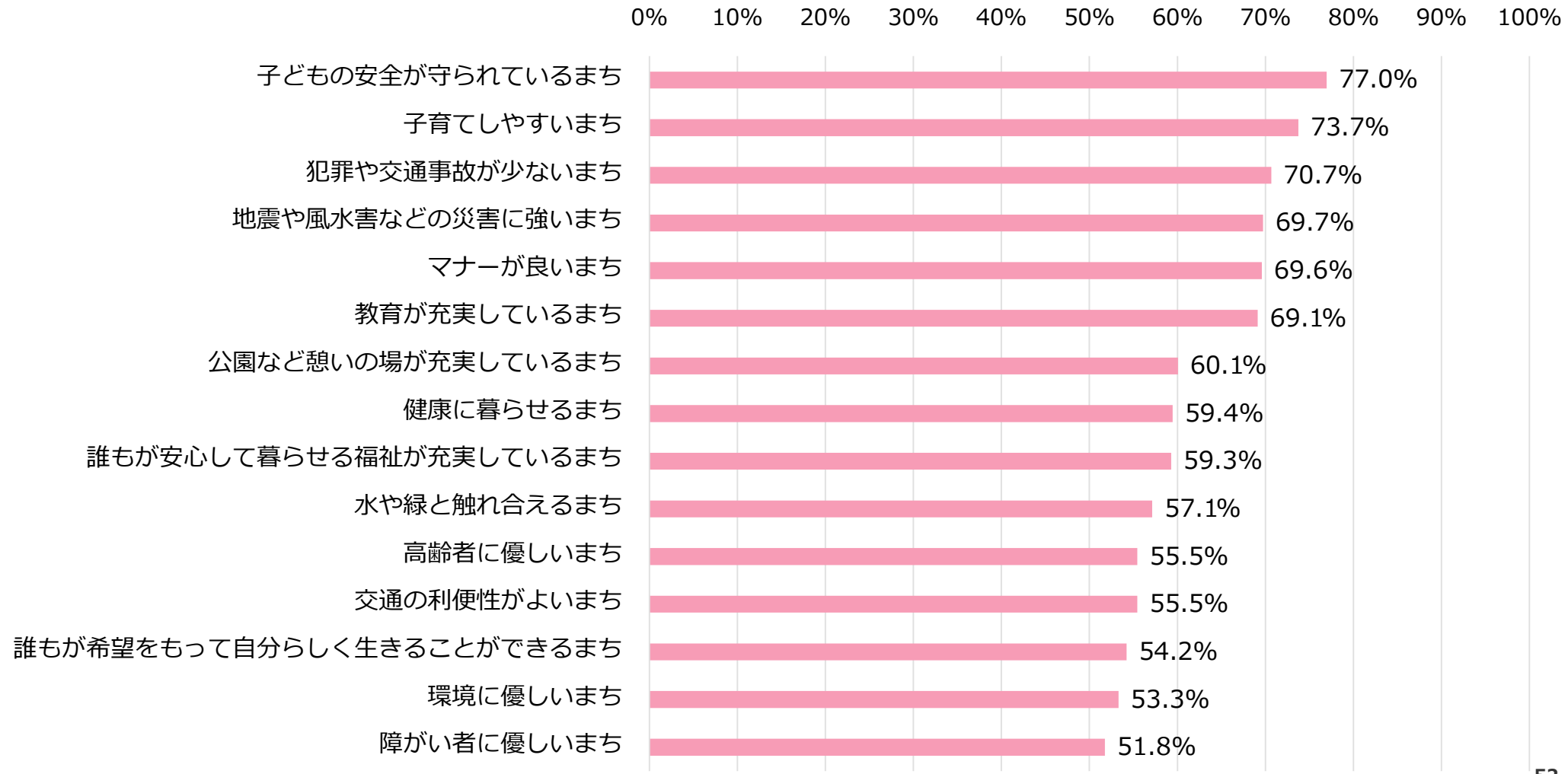


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）



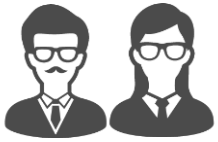
2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）

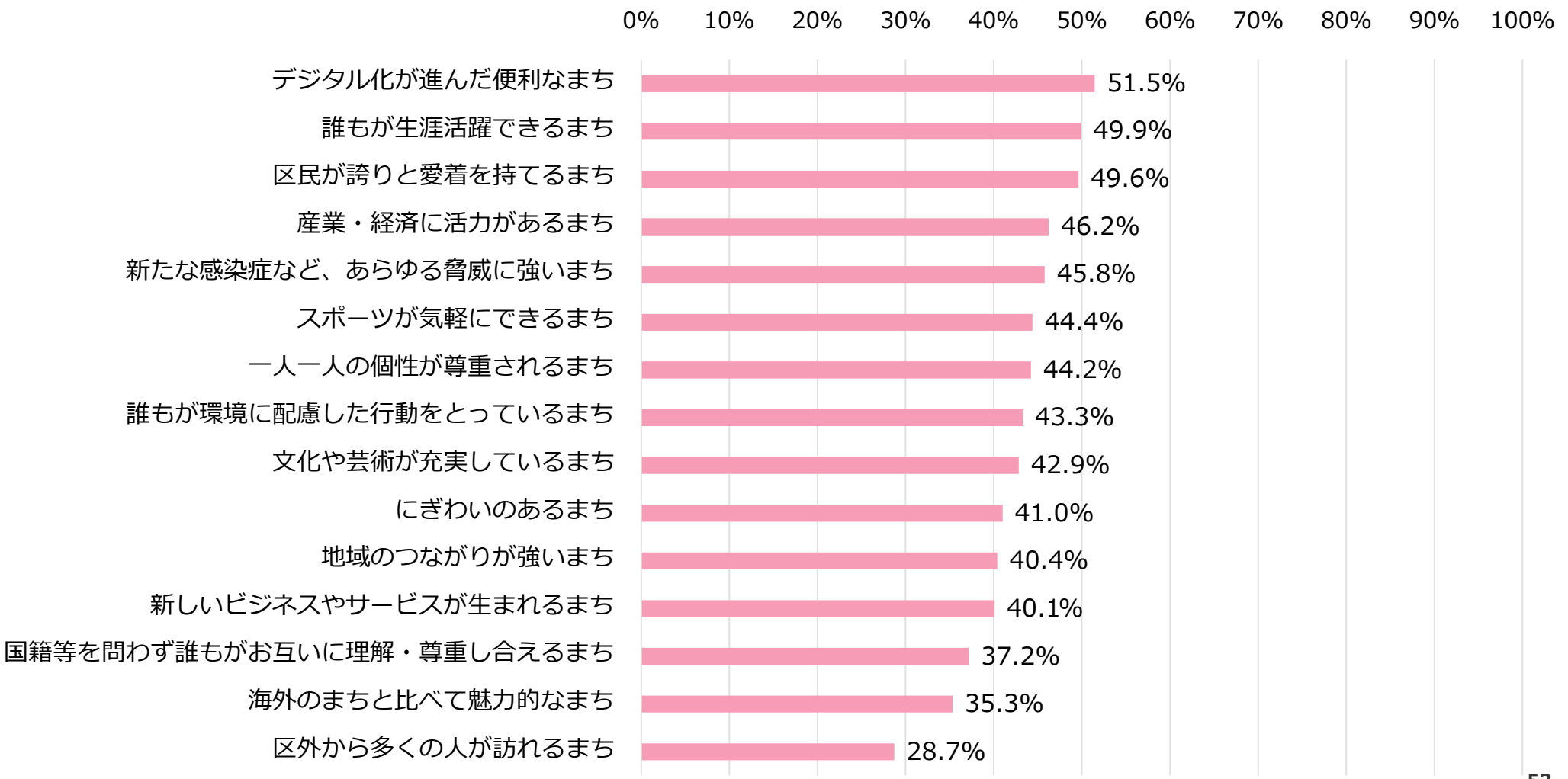


3　アンケート結果概要（大人・一般）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）



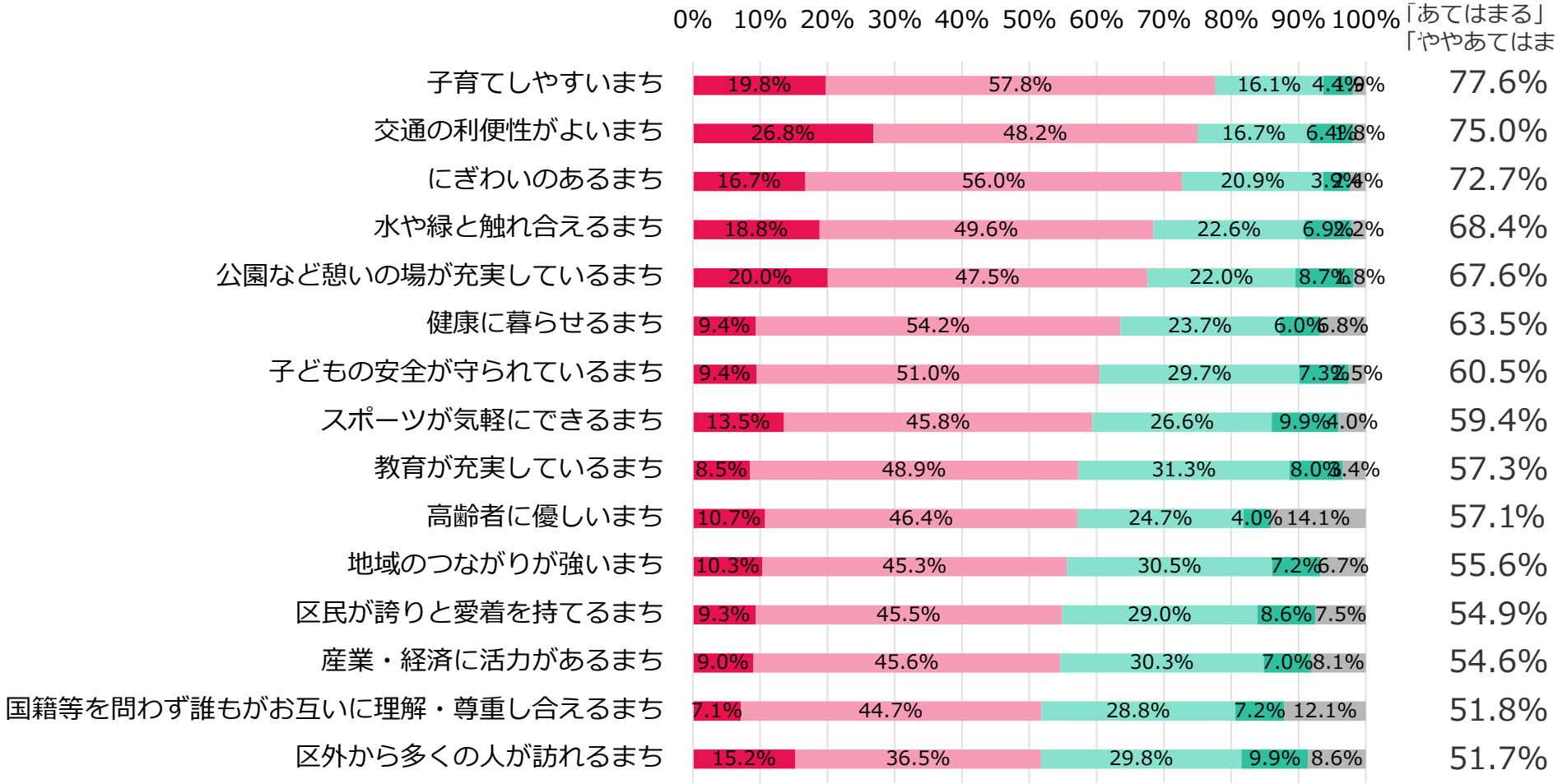


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順



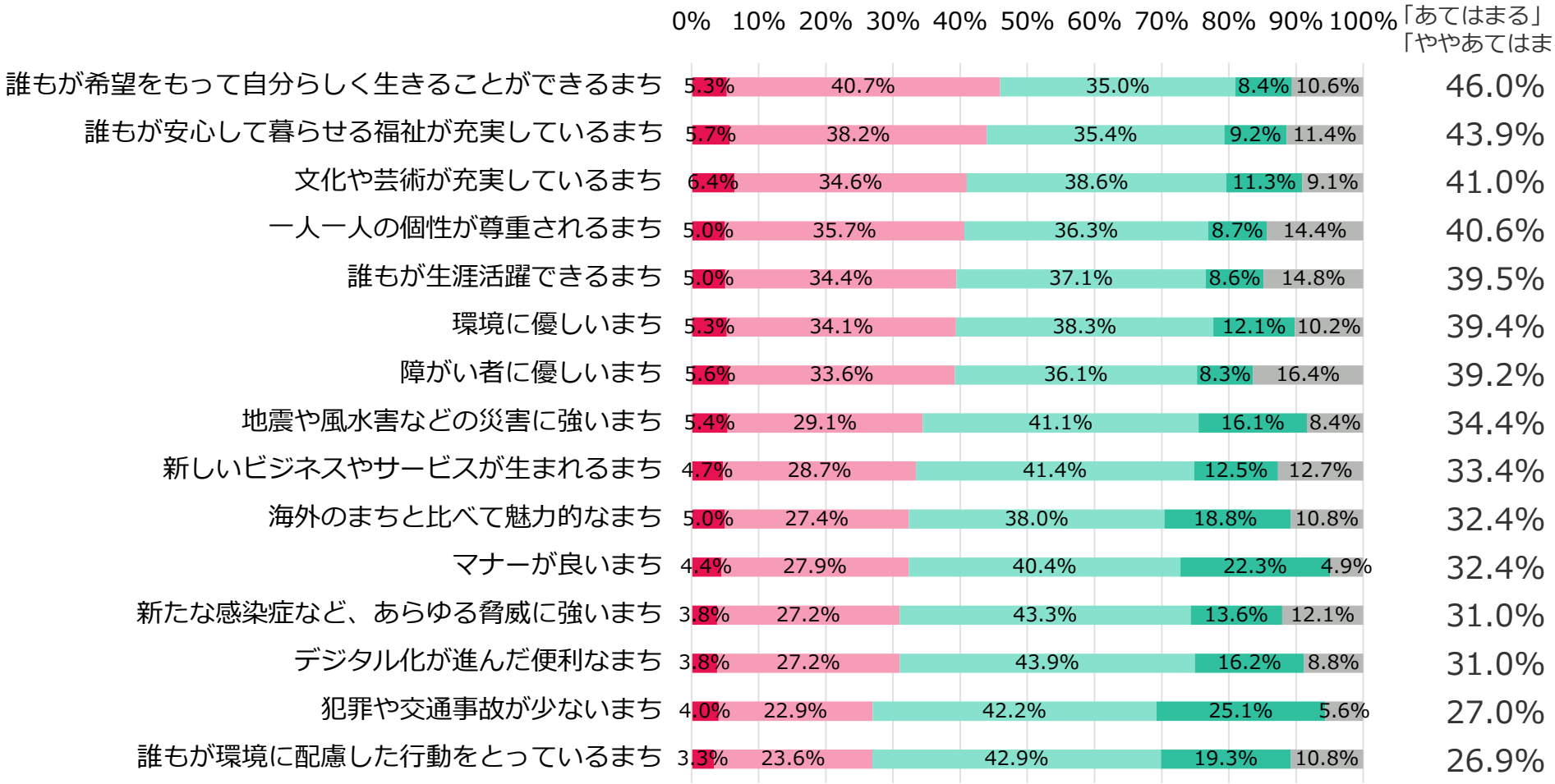


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順



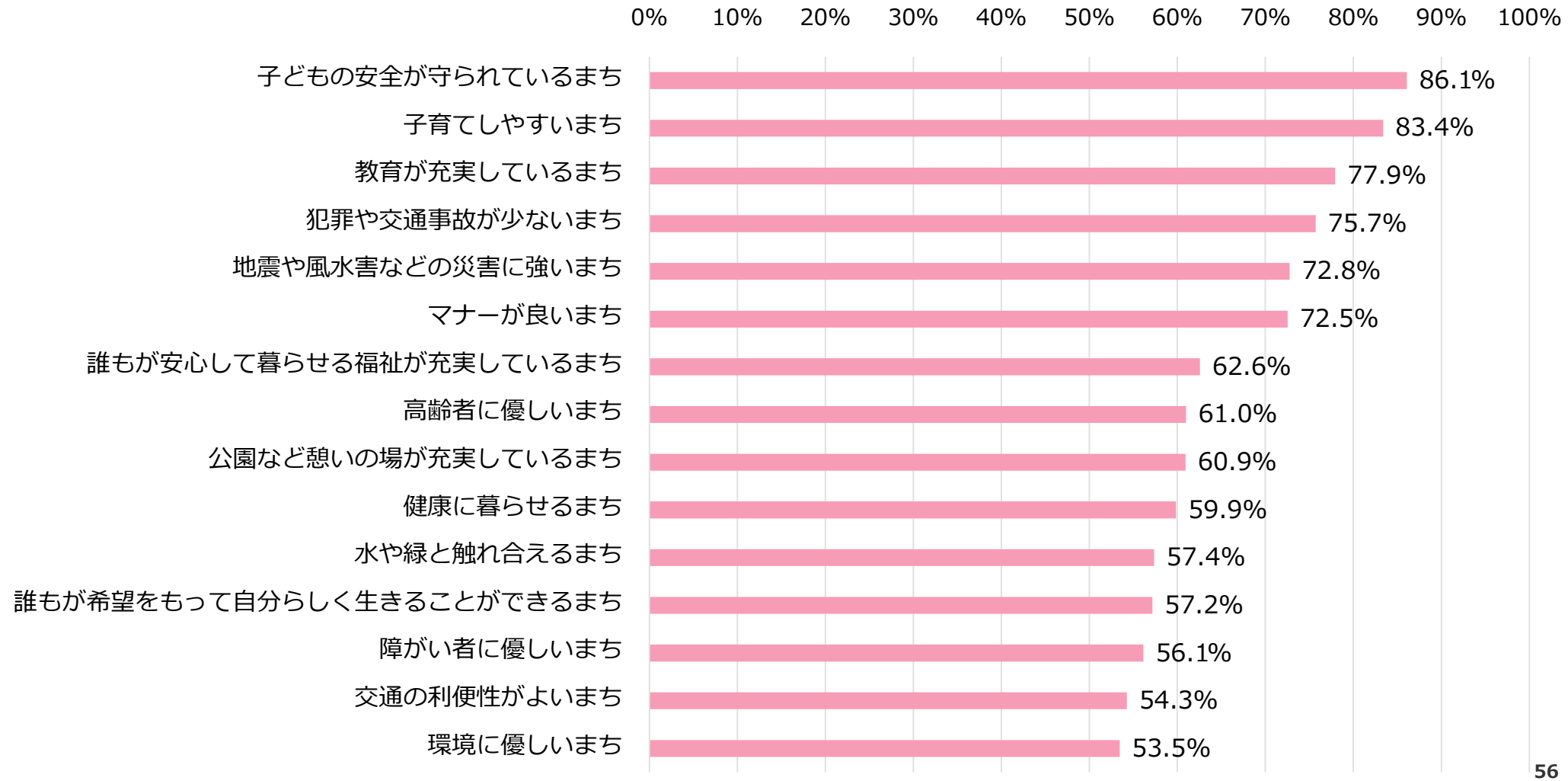


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）



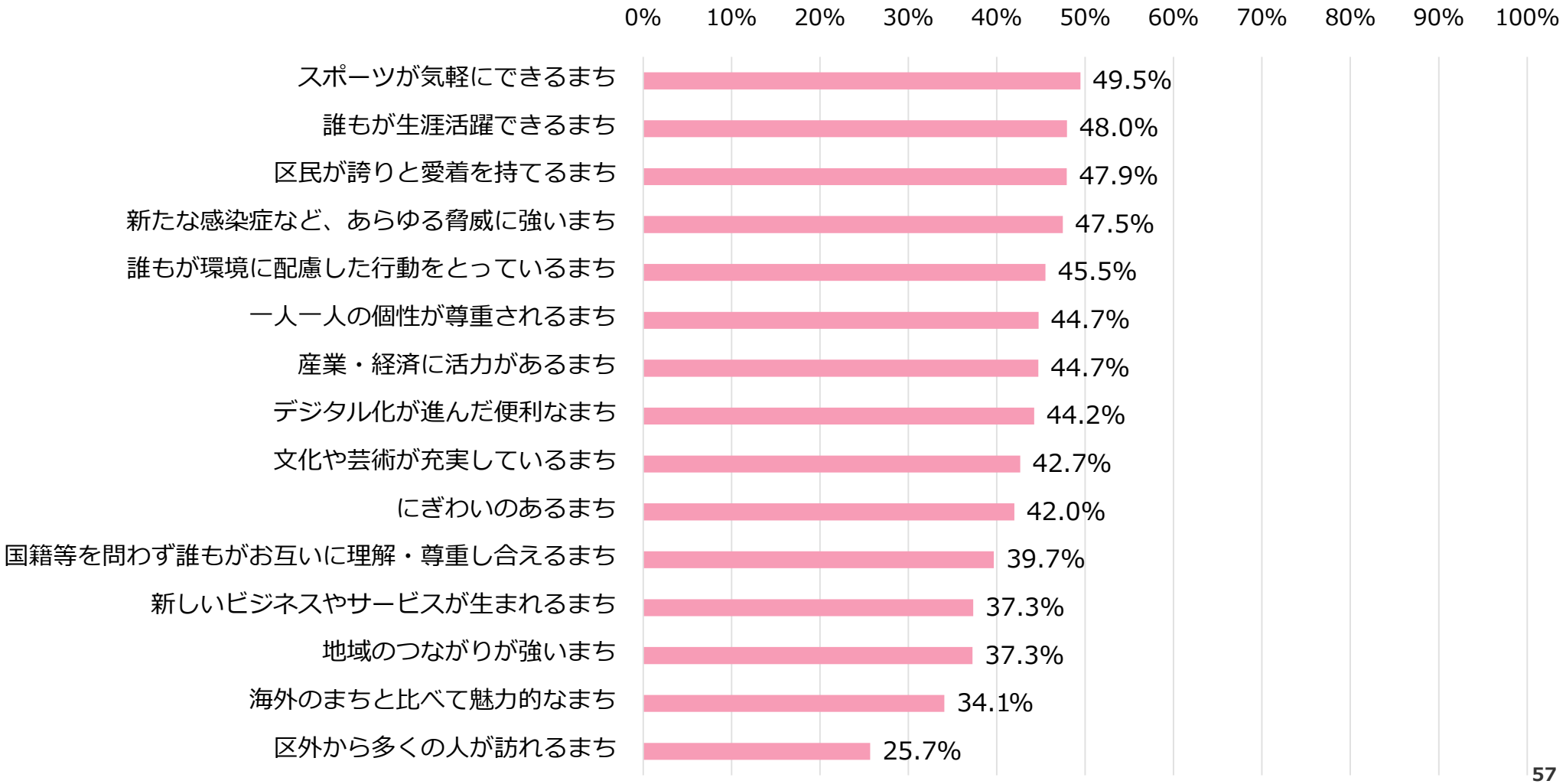


3　アンケート結果概要（大人・保護者）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）

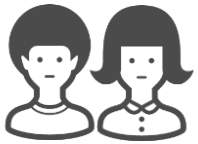


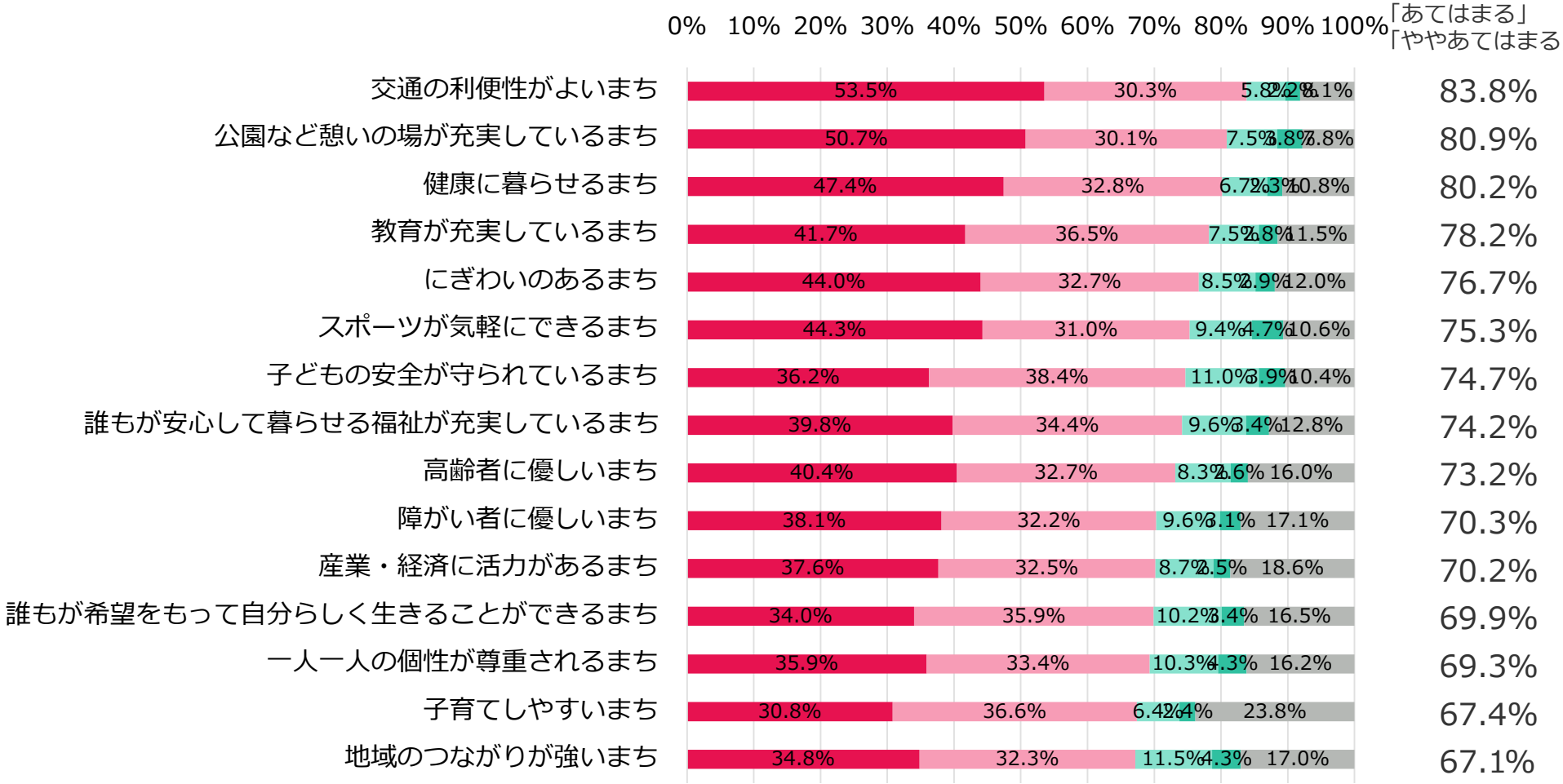


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果①（上位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

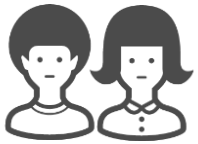


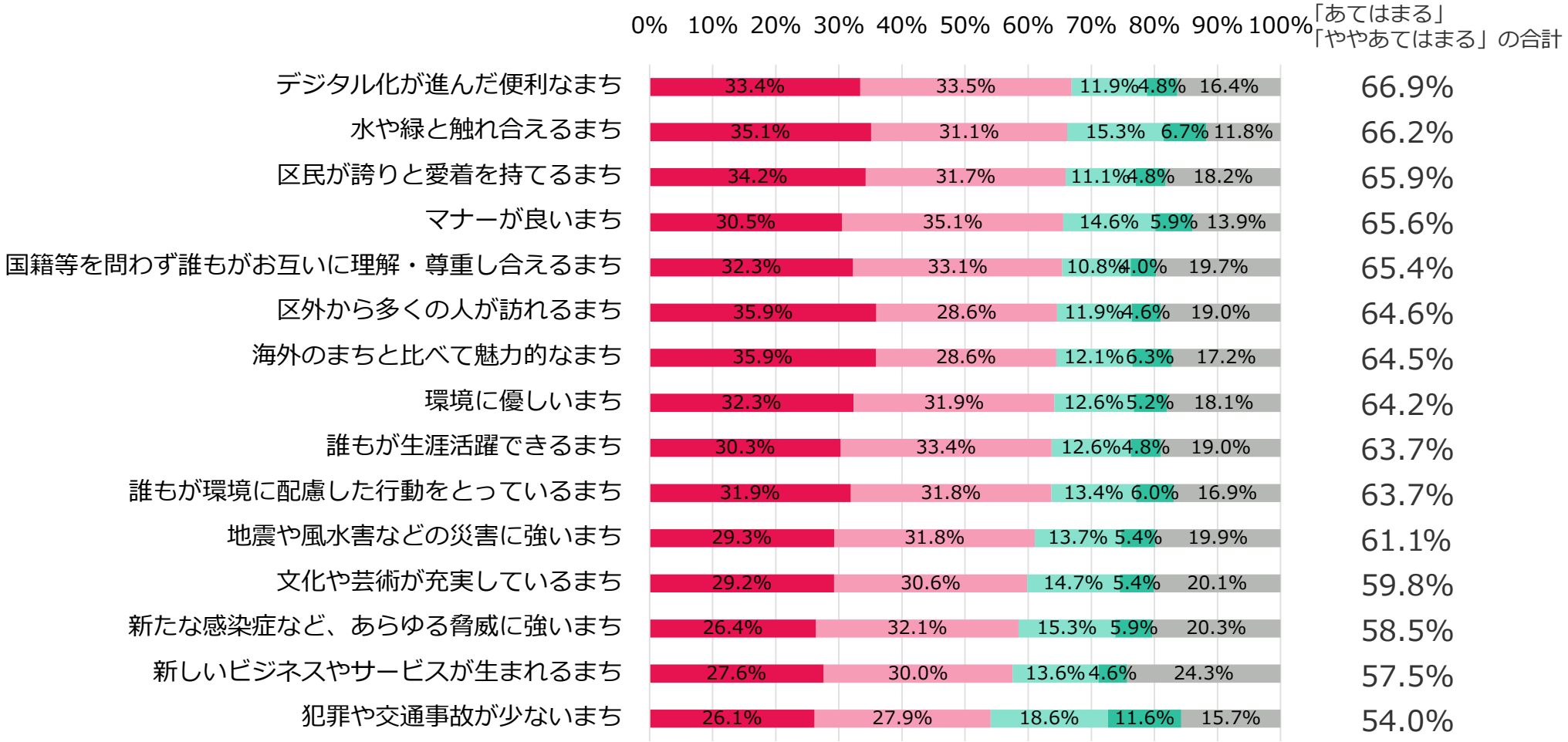


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-①　今の大田区はどんなまちだと思いますか。（あてはまるものを１つ選択）

今の各まちの姿の結果②（下位15項目）※「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計値順

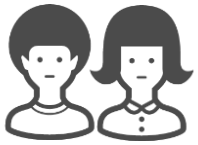


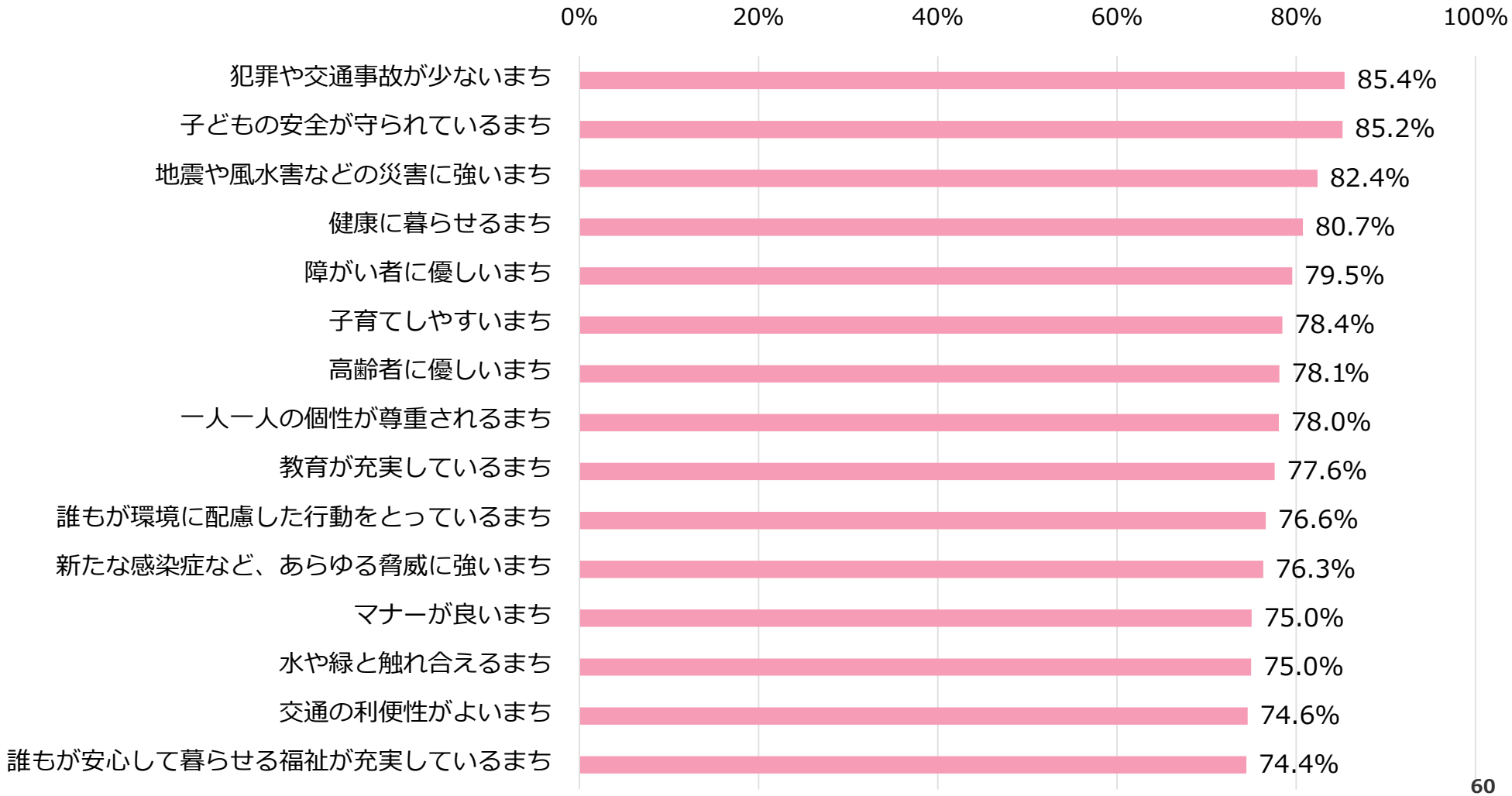


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

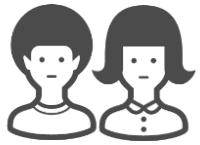
2040年ごろの各まちの姿の結果①（上位15項目）



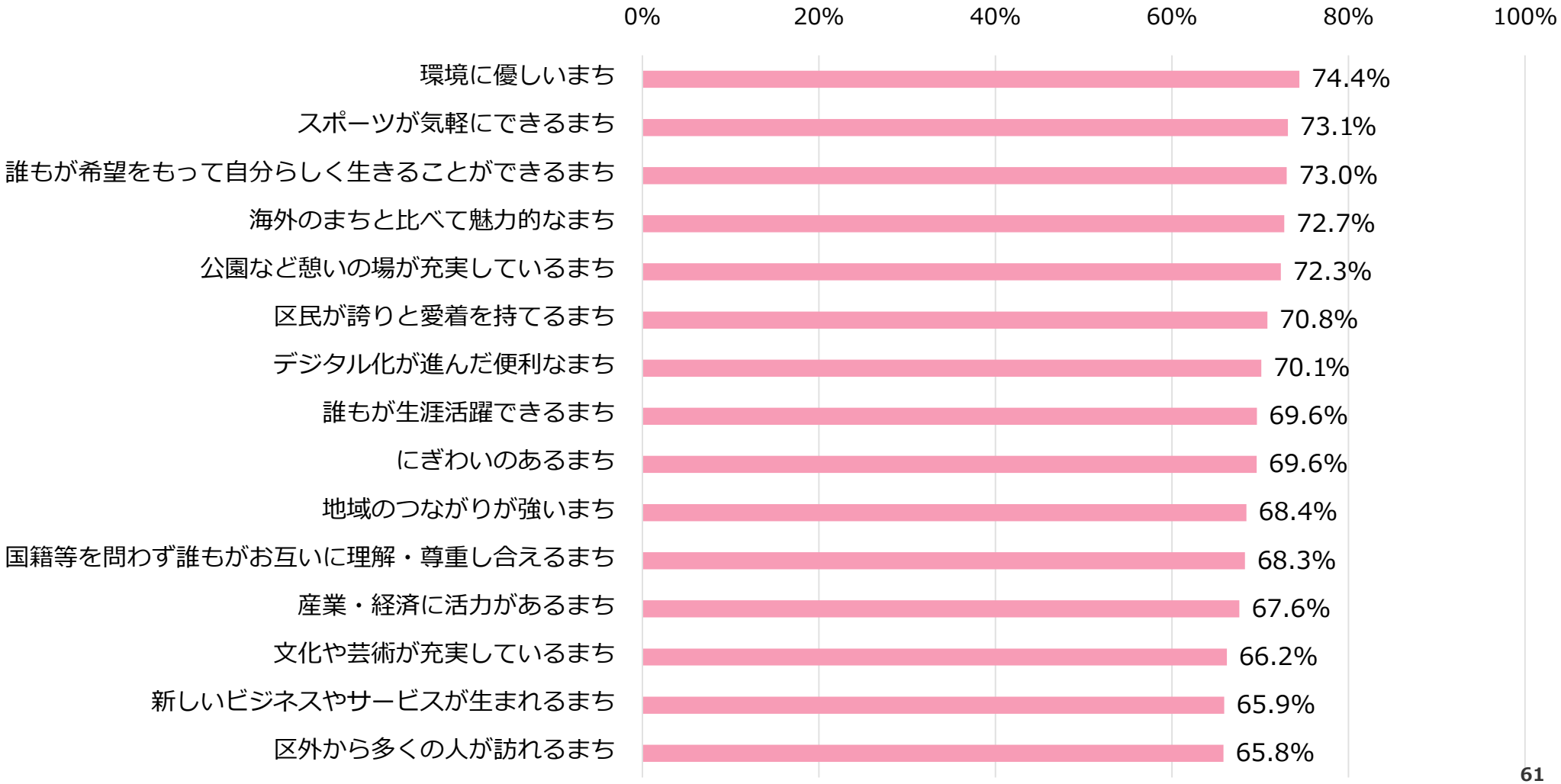


3　アンケート結果概要（小中学生）

Q2-②　2040年ごろの大田区をどんなまちにしたいですか。（あてはまるものを全て選択）

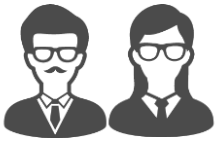


2040年ごろの各まちの姿の結果②（下位15項目）

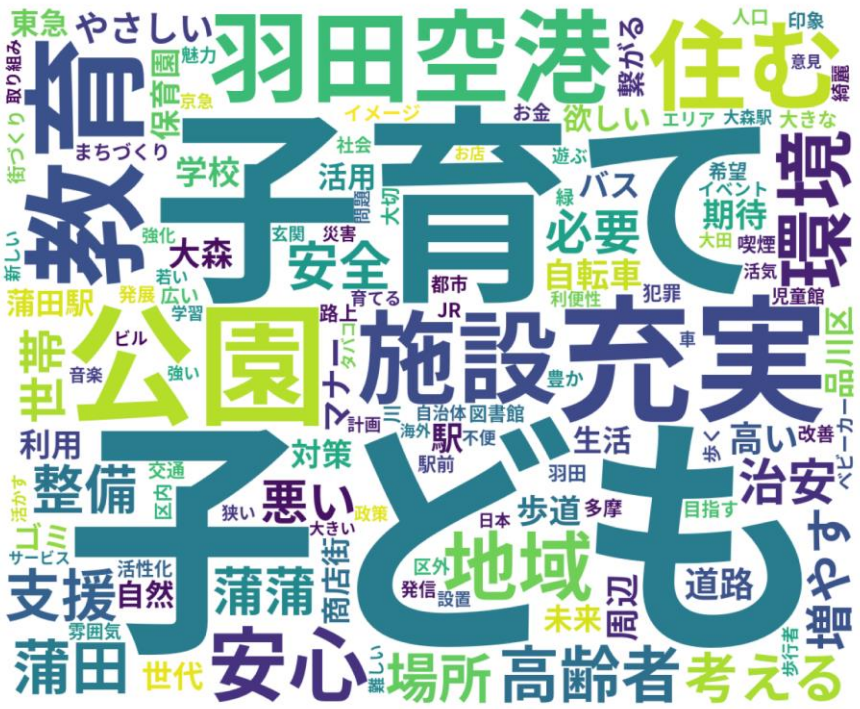


3　アンケート自由記述欄（大人・一般）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



＜302人の自由記述で作成したワードクラウド＞



＜年代別の自由記述頻出語＞

頻出割合	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
高	充実	子ども	子ども	子ども	羽田空港
	子育て	子育て	子育て	羽田空港	充実
	子ども	公園	公園	施設	高齢者
	音楽	教育	安心	安全	環境
	図書館	施設	学校	整備	ゴミ
		支援	高齢者	安心	
		安心	環境	周辺	
		蒲田	教育	高齢者	
		地域	地域	大森	
		治安	自然	都市	

※ワードクラウド：
　自由意見における単語の出現頻度を文字の大きさで表したもの

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（大人・保護者）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



＜995人の自由記述で作成したワードクラウド＞



※ワードクラウド：
自由意見における単語の出現頻度を文字の大きさで表したもの

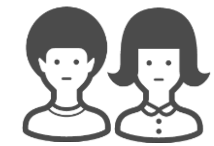
＜年代別の自由記述頻出語＞

頻出割合	20代以下	30代	40代	50代	60代以上
高	子ども	子ども	子ども	子ども	
	やさしい	公園	公園	教育	
		子育て	子育て	公園	
		蒲田	学校	安心	
		安心	教育	場所	
		場所	安心	環境	
		学校	高齢者	自転車	
		悪い	充実	子育て	
		教育	地域	安全	
		自転車	自転車	学校	

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（小中学生）

Q3　まちの将来像に関するご意見がございましたら、自由に記載をお願いします。



＜3,416人の自由記述で作成したワードクラウド＞



※ワードクラウド：
自由意見における単語の出現頻度を文字の大きさで表したもの

＜年代別の自由記述頻出語＞

頻出割合	小５	小６	中１	中２	中３
高	公園	公園	公園	公園	公園
	自然	子ども	ゴミ	子ども	子ども
	やさしい	やさしい	子ども	自然	学校
	子ども	緑	ボール	ボール	きれい
	犯罪	ボール	自然	環境	安全
	楽しい	環境	きれい	治安	治安
	緑	自然	やさしい	安全	ボール
	高齢者	安全	場所	学校	蒲田
	きれい	場所	犯罪	やさしい	教育
	ボール	犯罪	緑	教育	環境

※一部の固有名詞および動詞等を除いて作成
※出現数５つ以上で作成

3　アンケート自由記述欄（まとめ方）

◆自由記述欄のまとめ方

①　アンケートの自由記述を以下の分野ごとに分類
（あてはまる分野全てに分類）

【分野一覧】
人口/子育て/教育/高齢者/福祉/健康・スポーツ/防災/治安/交通/公園・緑地/住まい/
地域力/**国際都市・多文化共生**/**産業・経済**/**観光・文化**/**環境**/DX/**自治体経営**/
まちづくり/**その他**
（まちづくり：駅周辺のまちづくり　等　　その他：羽田空港・人権・SDGs　等）

②　分野ごとに主な意見を抽出し、属性別（一般/保護者/小中学生）に記載

3　アンケート自由記述欄（概要）

産業・経済



属性	主な意見
大人（一般）	・　特産品制作などによる町工場のイメージアップ。 ・　このまま商店街が消えて無くなるようなまちにはなってほしくない。 ・　デジタル技術を活用しながら区内の企業、商店の経済力を高めにぎわいのあるまち。
大人（保護者）	・　ものづくりフォーラムのような関わりを、イベントとしてではなく常にできるような仕組みづくり。 ・　買い物などは川崎のほうが充実しているため、蒲田自体の駅ビルや周辺の商業施設を充実させてほしい。 ・　町工場の技術が新たなスタートアップ・ビジネスへと繋がる底力をもつまち。
小中学生	・　昔ながらの工場等を大事にしつつ、新たなことに取り組んでいくまち。 ・　商店街が高齢者ばかりなので若い人でも楽しめる店を作ってほしい。 ・　新しい事業や取組を誰もがスタートできるまち。

3　アンケート自由記述欄（概要）

観光・文化



属性	主な意見
大人（一般）	・　羽田空港以外にもっと有名なシンボル的な名所があるとよい。 ・　魅力的なコンテンツを内外に発信する必要があるのではないか。 ・　ふらっと立ち寄るとそこには芸術が溢れているというようなまち。 ・　子どもたちも参加できる、区内で一つでも年一回の大きなイベントを開催してほしい。
大人（保護者）	・　せっかく空港が近いのに直通のバスなど交通手段がないので観光客を誘導できず、観光資源を生かしきれていない。 ・　海外から訪れる人にとって魅力あるまちづくりを進めてほしい。区民一人一人の外国人への対応や利便性の向上などソフト面での充実を図ってほしい。 ・　お祭りなどの伝統文化も大切にしてほしい。
小中学生	・　他の国の人が来てもおもてなしできるまち。 ・　もう少し大々的にまちのＰＲをした方がよいと思う。 ・　近未来的なことだけではなく昔の伝統的なものも守れるまち。

3　アンケート自由記述欄（概要）

環境



属性	主な意見
大人（一般）	• 歩道にタバコのポイ捨てやペットボトルなどゴミがとにかく多い。 • 清潔感のある大田区にしてほしい。特に区のゴミ収集は収集残し等があり改善が必要。 • 川の整備を徹底してほしい。（呑川、内川）
大人（保護者）	• より清潔感のあるまち、また安心安全に誰もが居られるまち。 • 資源の分別をもっと細かくし、リサイクルやリユースなどを推進する。 • 現在残されている緑や自然を壊さないでほしい。願わくば増やしてほしい。
小中学生	• ゴミをポイ捨てしない綺麗なまち。 • 食べ物を無駄にしないまち。 • 環境にやさしい発電方法で電気を作りたい。 • 緑や生き物の多い環境によい楽しいまち。

3　アンケート自由記述欄（概要）

国際都市・多文化共生



属性	主な意見
大人（一般）	・　外国人ともっと触れ合えるまちにしてほしい。 ・　様々な国籍や人種の人たちが仲良く暮らすまちであってほしい。
大人（保護者）	・　外国人が増えると犯罪が増える印象があるため、そういったところも心配しなくてもよいまちであってほしい。 ・　外国人との交流等、国際交流が盛んなまちになってほしいと思う。 ・　外国人が住みやすく多様性が尊重されたまちづくりを目指すとよいのではないか。
小中学生	・　様々な国の人々が安心して暮らし、お互いの文化について分かりあえるまち。 ・　外国人も同じ一人の市民として生活しやすくなってほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

人口



属性	主な意見
大人（一般）	・　大田区から少子化問題を改善し、子育てしやすくなるまちにしてほしい。 ・　大田区の良いところをアピールして、イメージの良い街にし、区外からの転入者も増え、産業が発達し、活力ある街にできるとよいと思う。
大人（保護者）	・　少子化対策として、子育て世帯を優遇し、子どもを産みたくなるまちづくりを目指してほしい。 ・　子供の数を増やさないことには、高齢化が進み、新たなイノベーションが生まれにくくなる。子どもに優しいまちは、高齢者や障がい者にも優しいまちである。
小中学生	・　少子高齢化の対策をちゃんととれるまち。 ・　住民が少し増え、祭りなどでもっと賑わうまち。

3　アンケート自由記述欄（概要）

自治体経営



属性	主な意見
大人（一般）	・　土日関係なく施設が空いているところが増えてほしい。 ・　区役所や出張所の土日開庁など、日中働いている人が使いやすい行政サービスがほしい。
大人（保護者）	・　学校や公共施設が古い建物が多いため、建て直してほしい。 ・　大田区内均等に行政サービスを受けられるようにしてほしい。
小中学生	・　所得税、法人税など、収入にかけられる税を減らしてほしい。 ・　学校が全体的に古いので、きれいにしてほしい。

3　アンケート自由記述欄（概要）

その他



属性	主な意見
大人（一般）	• 羽田空港はあるが、大田区を素通りしていく感じがするので、より魅力的なコンテンツを発信する必要があるのではないか。 • 羽田空港から近い利便性の良さを感じる。 • ひとや環境に優しいまち、助け合える思いやりのあるまちであってほしい。
大人（保護者）	• 大変アクセスのよい羽田空港は大きなメリットなので、今後のまちの活性化につなげてほしい。 • 個々を大切にできるまちづくりをしてほしい。
小中学生	• 大田区は羽田空港がある点をもっと大きくアピールし、世界と繋がっていけるようにしたらよい。 • 緑が多くSDGsに貢献しているまち。 • みんなが笑顔でいられるまち、平等なまち、戦争がなく平和なまち。